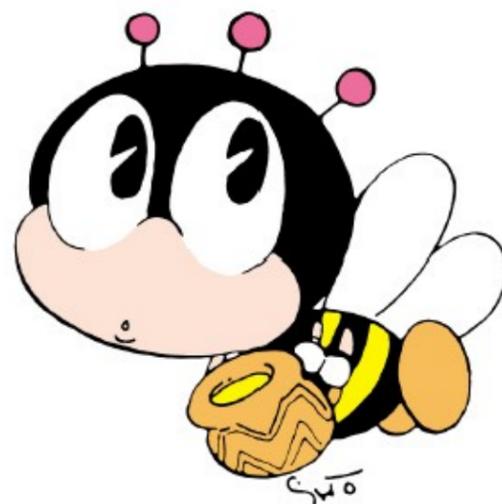


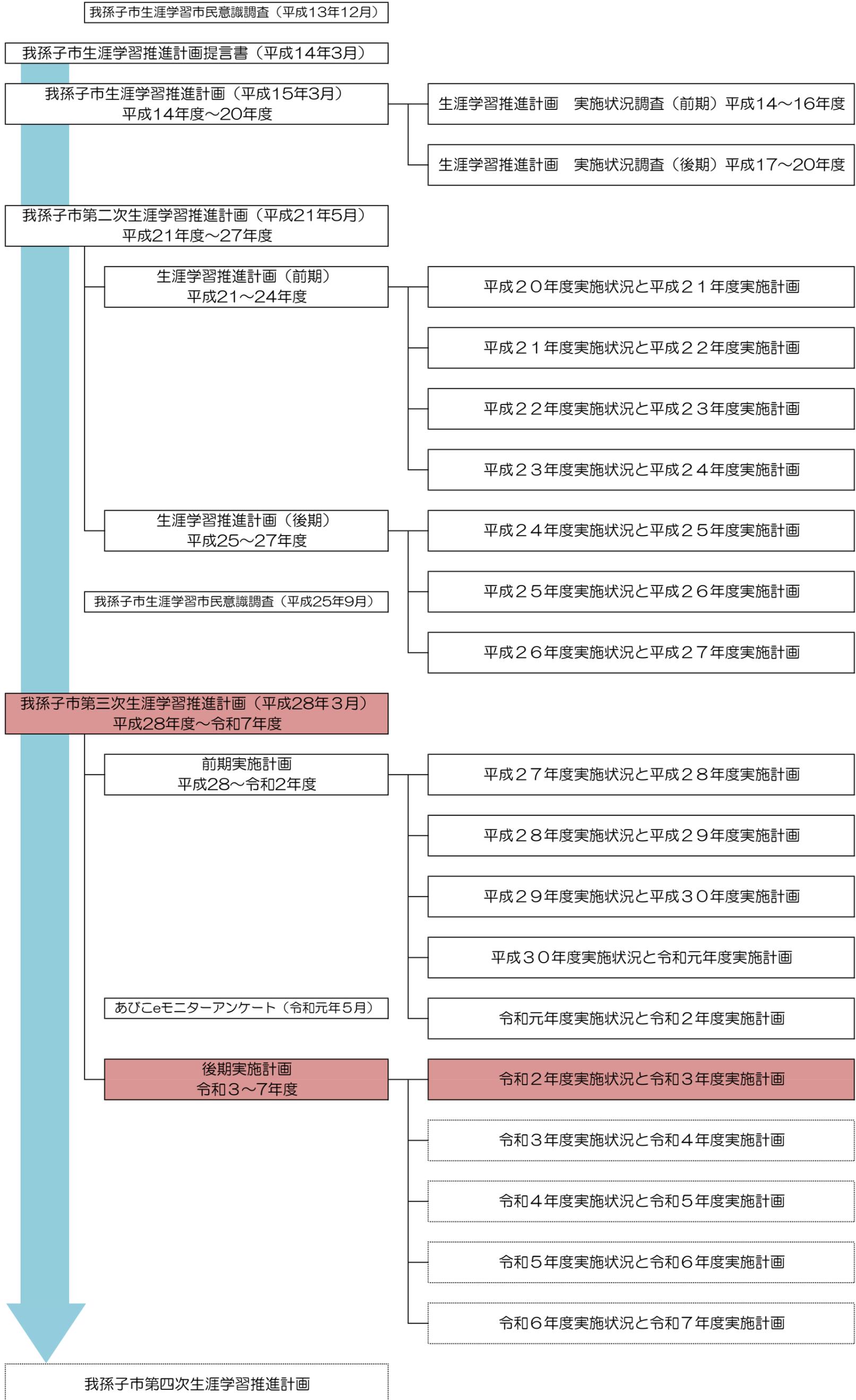
# 生涯学習推進計画 実施計画 事業調査集計表

～令和2年度及び令和3年度実施内容～



令和3年12月

# 我孫子市生涯学習推進計画のあゆみ



## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁	
1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり（37事業）	①学びへの情報提供体制の充実（19事業）	1 暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	秘書広報課	1	
		2 広報「あびこ」の編集・発行	秘書広報課	1	
		3 男女共同参画情報紙の発行	秘書広報課	1	
		4 財政情報の提供	財政課	1	
		5 食に関する情報の提供及び啓発の充実	健康づくり支援課	2	
		6 バリアフリー情報提供事業	障害福祉支援課 (障害者福祉センター)	2	
		7 子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営	子ども支援課	2	
		8 子育て支援情報の発信	保育課	3	
		9 手賀沼情報の提供	手賀沼課	3	
		10 都市計画に関する情報の提供	都市計画課	3	
		11 都市計画図等の作成・管理事務	都市計画課	3	
		12 景観形成情報発信・啓発事業	都市計画課	4	
		14 住宅情報の総合的提供	建築住宅課	4	
		15 水道広報活動推進事業	水道局経営課	5	
		16 生涯学習情報の発信	生涯学習課	5	
		18 あびこ電腦考古博物館の運営	文化・スポーツ課	5	
		19 図書館における郷土・行政資料サービス	図書館	6	
		20 図書館の情報化推進	図書館	6	
		21 鳥の博物館ホームページの運営	鳥の博物館	6	
		22 生涯学習相談体制の整備〔再掲153〕	生涯学習課	7	
		23 生涯学習人材バンクの整備〔再掲129〕	生涯学習課	7	
	24 生涯学習ボランティア〔再掲131〕	生涯学習課、子ども支援課、 保育課、指導課、文化・スポーツ課、 鳥の博物館、図書館	7		
	25 視聴覚教材・機材の管理及び貸出〔再掲164〕	生涯学習課	8		
	26 図書館カウンターサービス	図書館	8		
	27 図書館利用に障害のある方へのサービス	図書館	8		
	28 交通安全普及啓発活動の推進	市民安全課	9		
	29 集団健康教育	健康づくり支援課	9		
	30 健康フェア〔再掲174〕	健康づくり支援課	9		
	31 廃棄物に関する教育啓発事業	クリーンセンター	9		
	32 石けん利用の推進	商業観光課	10		
	33 小学校『歯磨き・食育指導』事業	学校教育課	10		
	34 生涯学習推進計画事業実施状況調査	生涯学習課	10		
	35 生涯学習推進委員会の運営	生涯学習課	10		
	36 健康スポーツ普及事業	文化・スポーツ課	11		
	37 読書普及活動	図書館	11		
	38 図書館PR	図書館	12		
	39 鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動	鳥の博物館	12		
		②学びにつなげるための相談体制の充実（6事業）			
		③学びへの関心を高めるための啓発の充実（12事業）			

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁		
2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり（53事業）	①地域への関心を高める学びの機会の推進（14事業）	41	子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）〔再掲177〕	子ども支援課	13	
		42	谷津ミュージアムづくり推進事業	手賀沼課	13	
		43	手賀沼船上学習の実施	手賀沼課	13	
		44	手賀沼流域フォーラムの開催	手賀沼課	13	
		45	ジャパンバードフェスティバルの開催〔再掲175〕	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	14	
		46	地区計画制度の活用の支援	都市計画課	14	
		47	我孫子産農産物の学校給食導入事業	学校教育課	14	
		49	市史調査研究	文化・スポーツ課	15	
		50	郷土芸能への支援〔再掲147〕	文化・スポーツ課	15	
		51	文化財の指定調査と保存支援	文化・スポーツ課	15	
		52	埋蔵文化財発掘調査	文化・スポーツ課	16	
		53	考古遺物整理	文化・スポーツ課	16	
		54	あびこ自然観察隊	鳥の博物館	16	
		55	てがたん（手賀沼の自然観察会）	鳥の博物館	16	
	②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供（19事業）	56	子どもNPOボランティア体験	市民活動支援課	17	
		57	後期離乳食教室	健康づくり支援課	17	
		58	しあわせママパパ学級	健康づくり支援課	17	
		59	離乳食教室	健康づくり支援課	17	
		60	手賀の丘フレンドシップツアー	子ども支援課	18	
		61	あびこ子どもまつり〔再掲150〕	子ども支援課	18	
		62	げんきフェスタ〔再掲151〕	子ども支援課	18	
		64	子育て支援施設における講習	保育課	18	
		65	こども議会	指導課	19	
		66	長寿大学〔再掲154〕	生涯学習課	19	
		67	成人式	生涯学習課	19	
		68	熟年備学	生涯学習課	20	
		69	家庭教育学級〔再掲155〕	生涯学習課	20	
		70	のびのび親子学級〔再掲156〕	生涯学習課	20	
		71	アビコでなんでも学び隊	生涯学習課	21	
		72	子どものための舞台鑑賞事業	文化・スポーツ課	21	
		73	成人・青少年への図書館サービス	図書館	21	
		74	児童への図書館サービス	図書館	22	
		75	子どもの読書活動推進計画の進行管理	図書館	22	
		③多様化・高度化する市民ニーズに対応した学習内容の充実（20事業）	76	男女共同参画講演会の実施	秘書広報課	23
			77	平和事業	企画課	23
	78		健康づくりに関する専門家によるセミナー	健康づくり支援課	24	
	79		メンタルヘルス啓発講座	障害福祉支援課	24	
	80		失語症家族教室	障害福祉支援課 （障害者福祉センター）	24	
	81		手話講習会・読話講習会	障害福祉支援課 （障害者福祉センター）	24	
	82		家族介護教室	高齢者支援課	25	
	83		認知症の方の家族のつどい「あびこ」	高齢者支援課	25	
	84		介護予防講演会	高齢者支援課	25	
	85		高齢者虐待防止講演会	高齢者支援課	25	
	86		遊具うんどう教室	高齢者支援課	26	
	87		環境学習の推進	手賀沼課	26	
	88		消費生活講座	商業観光課	27	
	89		緑の講習会	公園緑地課	27	
	90		栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業	学校教育課	27	
	91		生涯学習出前講座の運営〔再掲127〕	生涯学習課	28	
	92		生涯学習推進事業	生涯学習課	28	
	93		人権教育	生涯学習課	29	
	95		スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～〔再掲167〕	文化・スポーツ課	29	
	96		鳥の博物館企画展の実施	鳥の博物館	29	

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
3 多様な学びの場のあるまちづくり (27事業)	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 (23事業)	97 市民農園維持管理事業	農政課	30
		98 親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)	手賀沼課	30
		100 新たな文化交流拠点施設整備の検討	企画課、生涯学習課	30
		101 地域交流教室の提供	生涯学習課	31
		102 公民館施設管理運営	生涯学習課	31
		104 フリースポット(Wi-Fi)の提供	生涯学習課	31
		105 施設予約システムの運用	生涯学習課、文化・スポーツ課、市民活動支援課	32
		106 市民体育館管理運営	文化・スポーツ課	32
		107 体育施設管理運営事業、維持補修	文化・スポーツ課	32
		108 武道施設の建設整備の検討	文化・スポーツ課	32
		109 市民体育館維持補修、改修事業	文化・スポーツ課	33
		110 学校体育施設開放事業	文化・スポーツ課	33
		111 ふれあいキャンプ場管理運営	文化・スポーツ課	33
		112 文化財等の保存と活用	文化・スポーツ課	33
		113 杉村楚人冠邸の保存と活用	文化・スポーツ課	34
		114 旧井上家住宅の保存と活用	文化・スポーツ課	34
		115 白樺文学館の運営	文化・スポーツ課	34
		117 移動図書館業務	図書館	35
		118 図書館の整備	図書館	35
		119 図書館会議室及び展示スペースの提供	図書館	35
		120 鳥の博物館管理運営	鳥の博物館	36
		122 鳥の博物館展示リニューアル	鳥の博物館	36
		186 文化財保存活用地域計画の推進	文化・スポーツ課	36
4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり (17事業)	②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用 (4事業)	123 手賀沼ふれあいウォーク	健康づくり支援課	37
		124 近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進	文化・スポーツ課	37
		125 手賀沼エコマラソン支援事業【再掲148】	文化・スポーツ課	37
		126 市外図書館・大学・関係機関との連携協力【再掲183】	図書館	37
		127 【再掲】生涯学習出前講座の運営	生涯学習課	38
		128 生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録	生涯学習課	38
		129 【再掲】生涯学習人材バンクの整備	生涯学習課	38
		130 アビスタ利用者保育スタッフ事業	生涯学習課	38
		131 【再掲】生涯学習ボランティア	生涯学習課、子ども支援課、保育課、指導課、文化・スポーツ課、鳥の博物館、図書館	38
		132 文化事業市民スタッフの活用	文化・スポーツ課	38
③学んだ成果を評価するしくみの構築 (5事業)	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充 (6事業)	133 防災士及び災害救援ボランティア育成事業	市民安全課	39
		135 介護予防サポーター養成講座	高齢者支援課	39
		136 子育てサポーター養成講座	保育課	39
		137 環境レンジャー活動への支援	手賀沼課	40
		138 緑のボランティアの森づくり	公園緑地課	40
		140 生涯学習審議会委員の研修	生涯学習課	40
		143 市民参加型コンサート	文化・スポーツ課	41
		144 文化祭	文化・スポーツ課	41
		146 めるへん文庫	文化・スポーツ課	41
		147 【再掲】郷土芸能への支援	文化・スポーツ課	41
148 【再掲】手賀沼エコマラソン支援事業	文化・スポーツ課	41		

## 計画の体系

基本目標	施策	No 個別事業	担当課	頁
5 学びでつながるまちづくり（37事業）	①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実（8事業）	149 市民のチカラまつりの実施	市民活動支援課	42
		<b>150</b> 【再掲】 あび子どもまつり	子ども支援課	42
		<b>151</b> 【再掲】 げんきフェスタ	子ども支援課	42
		152 学校支援事業の充実	指導課	42
		153 【再掲】 生涯学習相談体制の整備	生涯学習課	42
		154 【再掲】 長寿大学	生涯学習課	42
		155 【再掲】 家庭教育学級	生涯学習課	42
		156 【再掲】 のびのび親子学級	生涯学習課	42
	②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成（13事業）	158 在住外国人支援事業	企画課	43
		159 公募補助金制度の運用	市民活動支援課	43
		160 市民公益活動補償制度の運用	市民活動支援課	43
		161 資源循環型社会に関する市民講座への派遣	クリーンセンター	44
		162 我孫子市創業支援等事業	企業立地推進課	44
		163 市民の学習活動への支援	生涯学習課	45
		164 【再掲】 視聴覚教材・機材の管理及び貸出	生涯学習課	45
		165 社会教育団体活動支援	生涯学習課	45
		166 文化芸術団体活動支援	文化・スポーツ課	45
		167 【再掲】 スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～	文化・スポーツ課	45
		168 施設・団体への図書等の貸出サービス	図書館	46
		169 鳥に関する学習への支援	鳥の博物館	46
		170 鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援	鳥の博物館	46
	③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築（16事業）	171 我孫子市国際交流協会（AIRA）との連携	企画課	47
		172 消費生活展の実施	商業観光課	47
		173 エンジョイ手賀沼	手賀沼課	47
		174 【再掲】 健康フェア	健康づくり支援課	47
		175 【再掲】 ジャパンバードフェスティバルの開催	手賀沼課、商業観光課、鳥の博物館	47
		176 青少年相談員連絡協議会への支援	子ども支援課	48
		<b>177</b> 【再掲】 子どもの居場所づくり事業（あびっ子クラブ）	子ども支援課	48
		178 子育てフェスタ	保育課	48
		179 学校評議員設置事業	学校教育課	48
		180 大学との協定による学校支援学生ボランティア事業	指導課	48
		181 キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）	指導課	49
		182 生涯学習審議会の運営	生涯学習課	49
		183 【再掲】 市外図書館・大学・関係機関との連携協力	図書館	49
		184 図書館実習生受入・施設見学	図書館	50
		185 山階鳥類研究所との連携・交流	鳥の博物館	50
		187 学校運営協議会制度の活用	指導課	50

**■** 進行管理が行える計画あり 9事業（うち再掲3事業）

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり		①学びへの情報提供体制の充実			基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	
基本目標 1 ①学びへの情報提供体制の充実 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	暮らしの便利帳・ガイドブックの発行	<ul style="list-style-type: none"> <li>●暮らしの便利帳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・発行はせず、ホームページで公開する手法に変更した。</li> </ul> </li> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」の改定 <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のアウトドア、宿泊施設、Wi-Fiスポットなどについて情報を追加。</li> <li>・従来の日本語版7000部、英語版3000部、韓国語1000部、中国語(簡体字)1000部に加え、中国語(繁体字)1000部を追加した。</li> <li>・県内外の観光情報発信拠点、東葛地区の不動産店舗・大型スポーツショップ等に配置した。</li> </ul> </li> </ul> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ガイドブック「ABI ROAD」</li> </ul> <p>配布部数/作成部数…11,070部/13,000部 日本語版 6,978部/7,000部、英語版 1,428部/3,000部、韓国語版 848部/1,000部、中国語(簡体字) 908部/1000部、中国語(繁体字) 908部/1,000部</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>各施設で日本語版の人气が高く、想定より早く在庫が無くなる可能性がある。</p> <p>在庫の確保</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>「暮らしの便利帳」は、引き続き市ホームページに掲載する。</p>	なし	秘書広報課
	広報「あびこ」の編集・発行	<p>【広報あびこ発行部数】 令和2年4月16日号～令和3年4月1日号 25回 各45,000部 ※新型コロナウイルス対策として、臨時号を5月26日に発行した。 前年度と同様、写真やイラストなどを活用し、見やすく読みやすい紙面づくりに努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ</li> </ul> <p>【発行回数】 月2回(1日・16日) ※臨時号:5月26日号 【配布方法】 新聞折り込みと新聞未読世帯には申し出により宅配による配布。市役所本庁舎ロビー、各行政サービスセンター・各近隣センター・公民館・図書館・水の館・市民プラザなどの公共施設でも配布。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【広報あびこ発行部数】 令和2年4月16日号～令和3年4月1日号 25回 各45,000部 ※新型コロナウイルス対策として、臨時号を5月26日に発行</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>施策・事業、イベント、各種講座や市民団体のお知らせなど、市民に関係するさまざまな情報を発信できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民と市が情報を共有するためには、市政や市民の暮らしに関する情報を提供している広報あびこの発行は現状どおり推進する必要がある。</p>	なし	秘書広報課
	男女共同参画情報紙の発行		※担当課の進行管理による			秘書広報課
	財政情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広報あびこ</li> </ul> <p>《4月》 令和2年度当初予算の概要 《7月》 令和元年度予算の執行状況 《11月》 令和3年度予算編成方針 《12月》 市の財政状況「令和元年度普通会計決算と令和2年度上半期の執行状況」 《3月》 令和元年度普通会計財務書類4表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ホームページ</li> </ul> <p>ホームページへ財政分析資料等の掲載</p> <p>◇◆指標と実績◇◆</p> <p>【ホームページ閲覧数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標値 25,000件</li> <li>・実績 31,345件</li> </ul>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>・市の財政について、広報・ホームページを活用して情報を提供した。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	なし	財政課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		前年度からの変更点
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
5	<b>食に関する情報の提供及び啓発の充実</b>  食に関する正しい知識を得て、おいしく楽しく食事する人を増やすために、食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。食品を選択する際の情報源である食品表示(栄養成分表示など)についても、引き続き出前講座や我孫子市食育だよりなどで啓発を行う。	食に興味・関心を持つための情報の提供や望ましい食事のとり方について啓発を行う。 食に関わる事業(離乳食教室等)や各地域でのイベントでの啓発活動に加えて、がん集団検診の会場でパネルやフードモデルを用いて啓発活動を実施する。また、食育だよりや保健センターだより、市のホームページを用いて啓発を行っていく。食品表示(栄養成分表示など)についても、出前講座などで啓発を行う。 ●食育だより 【発行月】6月、9月、12月、3月の計4回 【配布枚数】12,300枚/号、これに加え、がん集団検診で配布 ●ホームページ ホームページに食育だよりを掲載。 ●出前講座 市役所メニュー「知って得する食品表示」並びに「メタボを防ごう! 肥満解消! 時短簡単クッキング!」(調理実習)の設定があったが、利用者はなかった。 ●公民館講座 「のびのび親子学級」において食についての講話・調理実習を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防のため実施しなかった。 ●がん集団検診での啓発展示 令和2年度に実施した集団検診(胃がん検診・乳がん検診・子宮がん検診)の会場で啓発展示を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【食育便り発行枚数】53,200枚 【出前講座等参加者】本講座に参加し学習したことを、今後、活用・実行できそうか 実施なし	A. 成果・効果があった  ・食育だよりの配布により日頃健康づくり支援課の事業への参加が少ない小・中学校に通う児童・生徒を持つ保護者に情報提供を行うことができた。  ・喫食を伴う講座等の実施に制限がかかるが、実践につながりやすい情報の提供ができる場であるため、今後の実施について内容検討しながら考えていく必要がある。	A. 現状どおり推進  喫食を伴う講座等の実施は、実践につながりやすい情報の提供ができる場であるため、今後の実施については内容検討しながら継続実施とする。	なし	健康づくり支援課
6	<b>バリアフリー情報提供事業</b>  市民と協働で市内のバリアフリー状況調査を行い、その結果をホームページ「バリアフリーおでかけマップ」としてまとめ、障害のある方や高齢の方をはじめ、妊娠中の方や小さなお子様連れの方など、誰もが安心して外出を楽しめるように、情報提供を行う。	市内施設のバリアフリー状況調査を行い、その結果に基づいてホームページ「バリアフリーおでかけマップ らっく楽! あびこ」の掲載内容更新を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページへのアクセス数】12,986件	A. 成果・効果があった  市内施設のバリアフリー状況調査を行い、「バリアフリーおでかけマップ らっく楽! あびこ」の更新をすることで、外出支援に寄与した。	A. 現状どおり推進	バリアフリー状況調査については、新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、対面での調査を書面調査に変更する等の対応を行い実施。	障害福祉支援課(障害者福祉センター)
7	<b>子ども向け情報紙の発行及びホームページの運営</b>  子どもたちが地域における様々な体験活動への参加を通して、心身ともに健やかに成長することを願い、体験活動をはじめとする様々な活動に関する情報を広く収集、提供する。	●子ども向け情報紙「あびっ子ネット」 【部数】年間3回、各回約16,000部を発行 ※年度当初は年5回発行を予定していたが、新型コロナの影響により2回分発行を取り止めたため紙媒体での発行は3回となった。 【配布場所】市内幼稚園・保育園等、小中学校、公共施設に直接配布し広く市民に届ける。 【情報紙の発行の方法】編集の段階から市も関わりながら、市内の子ども関係団体等で組織する「あびこ子どもネットワーク」に業務委託することで、子ども関係団体間の情報交換を図りながら情報を精査し、市民目線で子ども向けの情報を発信している。 ●ホームページ 紙媒体での情報のみでなく、より広く最新の情報を発信するため、インターネットでの配信として、「あびっ子ネット」ホームページを運営。 【運営の方法】ホームページの編集・運営管理を情報紙発行と同じ「あびこ子どもネットワーク」に委託し、情報紙に掲載できなかった情報を随時掲載するなど情報の連携を図る他、提供された情報を精査して掲載しホームページ編集及び最新情報の更新を行う。  ◇◆指標と実績◆◇ 【情報紙「あびっ子ネット」配布枚数】年5回発行 新緑号 R2年4月24日発行 16,300枚 夏特大号 ※新型コロナの影響により発行中止 秋号 R2年10月3日発行 16,000枚 冬号 R2年12月11日発行 16,000枚 春号 ※新型コロナの影響により紙面発行中止。ホームページ上で情報発信。	A. 成果・効果があった  市民団体や個人、公共団体が企画し地域で行われる子どもと保護者向けの催し物やお知らせ、参加者の体験等に関する情報を発信することにより、催し物等への参加・体験を促し、子ども達の健やかな成長を育むことを支援できた。  業務委託をしている「あびこ子どもネットワーク」の編集委員の中には、情報紙の発行及びホームページの管理運営を開始した当初から携わっている方もおり、現在のノウハウを継承するため新たな担い手の確保が課題となっている。	A. 現状どおり推進	発行回数を年5回から年4回に変更。	子ども支援課

基本目標

1

①学びへの情報提供体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	① 学びへの情報提供体制の充実	8	<b>子育て支援情報の発信</b> 乳幼児を子育て中の親の育児不安や孤立化を防ぎ、子育てに喜びや楽しみを感じられるよう、情報提供を行うとともに、必要に応じ援助・斡旋を行う。 ●広報あびこ 【日程】毎月1日広報あびこ「子育て応援情報」掲載 【内容】「保育園・幼稚園などの地域子育て支援」「出前保育」「広場でパパを楽しもう」「ふたごちゃん・みつごちゃんの会」 ●登録制メール配信サービス(子育て応援情報) 随時 ●インターネット 随時 【発信状況】 ・市ホームページ「あびこで子育て」にて、イベントカレンダー・イベントレポート(ブログ)・「あびこでパパを楽しもう」「子育て支援施設」「子育て支援サービス」等の情報を随時更新。 ・市フェイスブックに子育て情報を投稿。 ※上記を我孫子市子育て支援センターのiPadにて情報提供。 ●窓口・電話による子育て情報提供(子育てコンシェルジュ) ●子育て支援ガイドブック「わくすく」概要版の発行 【日程】2020年11月発行 【部数】4,000部 【対象】在宅未就園児、母子健康手帳申請者、転入者など ◇◆指標と実績◆◇ 【相談件数】799件	A. 成果・効果があった 利用者が必要な情報を得て活用することにより、育児不安の軽減や孤立化の防止につながっている。	A. 現状どおり推進 子育て支援施設での相談対応を定期的に行い、利用者が気軽に相談できる体制を作っていく。	我孫子市子育て支援ガイド「わくすく」2022年～2023年度版を株式会社サイネックスと共同発行予定。 【発行部数】9,500部 【発行日】2022年3月 【配布期間】2022年3月から2024年3月末まで。	保育課
	9	<b>手賀沼情報の提供</b> 手賀沼の水質変化を市内の掲示板で3ヶ月に1回更新するとともに、手賀沼に関するイベント等の情報をホームページや広報で提供し、手賀沼に対する関心を深める。 手賀沼中央地点の水質情報の更新(3ヶ月に1回)を各掲示板にて情報提供及び広報あびこに情報掲載する。 また、手賀沼公園内の掲示板においては、1ヶ月毎に市独自で水質調査を行っている「手賀沼公園沖」の水質も併せて更新する。 【掲示場所】 JR4駅(我孫子・天王台・湖北・布佐)の各南北口階段、行政サービスセンター7施設、市役所本庁舎1階、水の館(1階、3階)、アビスタ、手賀沼ビオトープ、手賀沼公園(手賀沼公園沖水質データも掲示) 計21箇所 ◇◆指標と実績◆◇ 【掲示箇所】 21箇所	A. 成果・効果があった 市民の目に触れるところに掲示することで目的とする情報を提供できた。中には掲示板をきっかけにしたお問い合わせもあった。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課	
	10	<b>都市計画に関する情報の提供</b> 都市計画とは何か、都市計画法等の法令内容に沿って概要を説明するとともに、我孫子市における都市計画の内容について事例を用いて説明する。 ・市民・事業者からの窓口や電話などでの問い合わせに対して都市計画法第3条第3項に基づき、都市計画(用途地域、高度地区、防火・準防火地域等)に関する適切な情報の提供を常時行う。 ・都市計画の概要が記載されている「我孫子市の都市計画」およびホームページの更新を行い情報提供を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 計10673件 (我孫子市の都市計画の概要:1252件、高度地区の規定について:977件、都市計画図検索画面:8444件)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進 常に情報を更新し、正確に情報を提供する。	公開型GISの導入による、都市計画情報の提供方法の改善(検索性の向上など)	都市計画課	
11	<b>都市計画図等の作成・管理事務</b> 常に最新の都市計画図等の作成に努め、都市計画情報を市民・事業者に広く提供する。 ・都市計画図を都市計画課窓口、行政情報資料室及び図書館に配置するとともに、都市計画基本図(地形図)を都市計画窓口に配置し、一般市民・事業者に対して広く閲覧できるようにする。 ・都市計画課窓口で都市計画図・都市計画基本図(地形図)を販売する。 ◇◆指標と実績◆◇ 【販売枚数】 48枚(都市計画図:22枚、白図:26枚)	A. 成果・効果があった 市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	A. 現状どおり推進 令和2年度に都市計画図及び都市計画基本図の更新を実施したため、最新情報を提供する。	公開型GISの導入による、都市計画情報の提供方法の改善(検索性の向上など)	都市計画課		

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	①学びへの情報提供体制の充実	12	<b>景観形成情報発信・啓発事業</b> 多くの市民に景観への関心を持ってもらうため、市民団体の活動支援や、イベント、ホームページ等の広報活動を通して、景観に関する情報発信及び啓発を行う。 1. 「我孫子のいろいろ八景歩き」の開催 我孫子のいろいろ八景に選ばれた市内の魅力的な景観ポイントを、市民ガイドと巡るまち歩きイベント「我孫子のいろいろ八景歩き」を4回開催。計53人の参加があった。 ◆「我孫子のいろいろ八景歩き」開催実績(令和2年度) ①「布佐・新木三大緑地公園コース」 【実施日】10月20日(火) 【参加者】12人 ②「白樺派の散歩道と水辺のまちなみコース」 【実施日】10月24日(土) 【参加者】13人 ③「守られた自然」かじ池・谷津を巡るコース 【実施日】10月29日(木) 【参加者】15人 ④「将門伝説の地と中里市民の森を行くコース」 【実施日】10月31日(土) 【参加者】13人 2. 我孫子のいろいろ八景パネル展示 市内の公民館や近隣センター等の公共施設(計12施設)で、我孫子のいろいろ八景を紹介するパネルを展示(実施期間:令和2年10月～令和3年3月)。 3. 「我孫子のいろいろ八景歩き」コースマップ等の配布 我孫子のいろいろ八景を巡る散策コースマップ(計12コース)をはじめ、我孫子のいろいろ八景に関する発行物の改訂・増刷を行い、市内・市外の公共施設等で配布した。 ◇◆指標と実績◆◇ 「我孫子のいろいろ八景歩き」合計参加者数…53人	A. 成果・効果があった 令和元年度まで行っていた「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者アンケートの結果では、全員から本事業は景観に関心を持っていただく上で効果があるとの回答が寄せられた(※「効果がある」…87.7%、「やや効果がある」…12.3%)。令和2年度はコロナ対策のためアンケートは未実施。 また、我孫子のいろいろ八景の散策コースマップは、一部の施設では設置から程なくして補充が必要になるほど好評を得ている。 「我孫子のいろいろ八景歩き」の参加者を年代別に見ると、60代以上が大半を占めている。若い世代に景観に興味・関心をもっていただくための工夫や仕掛けづくりが課題。	A. 現状どおり推進	より多くの方に我孫子の景観をPRするため、我孫子のいろいろ八景のチラシを市内外のスーパーカスミに設置する予定。	都市計画課
		14	<b>住宅情報の総合的提供</b> 市のホームページに「住まい」に関する情報提供ページを設け、市が行っている住宅施策や市営住宅、マンション管理等の情報を提供する。 市ホームページや広報を活用し、必要とされる情報を幅広く発信する。 ●住まいに関わる情報発信(制度内容などは代表的なものを抜粋) (ホームページ) ・住まいに関わる相談(住宅、不動産相談)(※) ・マンション管理(セミナー、個別相談)(※) ・住まいに関わる助成、補助(若い世代の住宅取得、住宅リフォーム補助金など) ・空き家バンクの運営、空き家等の流通促進や活用支援 ・市営住宅(入居募集、団地詳細)(広報等) ・住宅、不動産相談(4/1)(※) ・若い世代の住宅取得補助金(4/1、6/1、8/16、11/16、3/1) ・我孫子市住宅リフォーム補助金(4/1、6/16、8/16、11/16、1/1) ・マンション問題個別相談会(4/1)(※) ・マンション管理セミナー(※) ・市営住宅入居募集(7/1) ・空き家バンク(4/1、5/16、8/16、11/16、3/1)、など (※)新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止。代替として、電話対応が可能な関係団体の相談窓口をご案内した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【各制度の申込件数】 住宅相談:0件 不動産相談:0件 マンション管理セミナー:0団体、個別相談:0団体 若い世代の住宅取得補助金:243件 住宅リフォーム補助金:213件 空き家バンク新規登録:1件	A. 成果・効果があった 住まいに係る補助制度である住宅リフォーム補助金制度については、関連する制度と併せて記事を掲載するなどの効果的な情報発信により、前年度と比較して申請件数が増となったことから、成果があったものと思われる。 住宅リフォーム補助金や住宅・不動産相談の利用者は比較的高齢の方が多いため、HPでの情報提供が困難な場合がある。このことにより、電話や窓口でのご案内の機会が多くなるため、より丁寧でわかりやすい説明が必要となる。	A. 現状どおり推進	なし	建築住宅課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	15	水道広報活動推進事業 水資源の重要性や、水道事業運営状況等の積極的な情報提供を図る。	<p>【「あびこの水道」発行部数】 45,500部 年2回の発行</p> <p>●広報「あびこの水道」発行 【発行回数】年2回(No.54: 5月16日号、No.55: 11月16日号)発行</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内では新聞折り込み等により配布</li> <li>・取手市小堀地区・取手地区に個別郵送</li> <li>・市関連施設の窓口にて配布</li> <li>・市Webサイトに掲載</li> </ul> <p>●水道水のPR活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内のイベントや小学校の授業において、我孫水(ペットボトル水)の配布をし、水道水の安全性やおいしさについてPRした</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【「あびこの水道」発行部数】 45,500部 (年2回 91,000部)</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	水道局経営課
	16	生涯学習情報の発信 各課で実施する生涯学習に関連する事業について、「生涯学習情報」や生涯学習のホームページ、ブログ及びSNS(Facebook、Twitter)、市のメール配信サービスなどを活用し、より広く情報の発信を行う。	<p>●ホームページ 生涯学習に関連するイベントを生涯学習のページ「学び・生涯学習」で紹介。</p> <p>●生涯学習情報 生涯学習の情報紙として発行。 【発行回数・部数】2回(39号)、1000部増刷1000部(山下清展特集号を除く)、(40号)春季増刊3000部(8P+付録)</p> <p>【配付先と設置場所】教育委員会、市役所本庁ロビー、水の館、アビスタ、湖北地区公民館、図書館湖北台分館、図書館布佐分館、鳥の博物館、白樺文学館、杉村楚人冠記念館、市民体育館、市内近隣センター、行政サービスセンター、高齢者なんでも相談室、市民プラザ、アビシルベ、農産物直売所、保健センター、消費生活センター、商工会、子ども発達センター</p> <p>【発行月】11月 【内容】「我孫子を知る」1年、始まっています！アビスタの新しい生活様式、アビスタ館内案内図(山下清展展示案内)、Pickup公民館講座まりました！(あなたに合った片付けの極意、風呂敷をエコバッグに！)(募集中！親子de mini門松づくり、募集中！段ボールで作る恐竜チェア)</p> <p>【発行月】3月 【内容】「若い力を信じる！」、Pickup我孫子市立小中学校による展示「今こそ本で繋ぐ」、新しい生活様式での成人式、令和3年度公民館主催学級募集情報 みんなで子育て楽しもう！、アビコでなんでも学び隊準備中！、さあ！始めよう！健康寿命は自分で延ばす！、公民館主催学級・講座の感染対策、ソーシャルディスタンスでかけよう！付録「てくてくMap」</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】7,859件</p>	A. 成果・効果があった 市制施行50周年記念事業「山下清展」を特集したことで関心を集めた。また、賛否のあった成人式について多く取り上げていることや、コロナ禍において、健康維持のために歩くことを推奨した市内巡りのMapなど、withコロナを意識した内容に情報弱者の世代には効果があった。	B. 改善・見直しを行う 情報発信の方法を見直していく必要がある。	なし	生涯学習課
	18	あびこ電腦考古博物館の運営 我孫子の文化財とその保護の取組みについて、市民に広く知ってもらうため、市の文化財のホームページである「あびこ電腦考古博物館」から文化財の情報を発信する。	<p>今年度も継続して、発掘調査情報、イベント情報、指定文化財、刊行物などの情報更新を行っていく。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページ閲覧数】 230,190件</p>	A. 成果・効果があった 情報管理を適切に行い、情報更新を速やかに行うことができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	19	図書館における郷土・行政資料サービス  多くの市民に我孫子市や千葉県 の郷土や行政に関心を持ってもら うため、郷土・行政資料の収集・ 保存・提供に努め、学びたい時 に学べる学習機会の充実を図る。 我孫子市の資料については、ア ビスタ本館が中心となり、収集・ 保存する。	我孫子市や千葉県に関する郷土・ 行政資料を収集・保存・提供した。 我孫子資料については、特にアビ スタ本館が中心となって収集・保 存した。白樺文学館、杉村楚人冠 記念館と連携を図り、「我孫子に ゆかりの人と作品コーナー」の運 営及び講座の開催を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【郷土行政資料(我孫子資料・千 葉県資料)の年間貸出冊数】 2,824冊 (前年度比 71.7%)	A. 成果・効果があった  我孫子市や千葉県に関する郷土・ 行政資料を収集・保存・提供する ことにより、市民が郷土への理解 を深め、愛着をもって生活し、主 体的に行政に関わるための一助 となった。また、市の文化施設と 連携することにより、郷土資料の 充実及び事業のPR・共同開催を 図り、互いに利用を促進するこ とができた。  「我孫子にゆかりの人と作品コー ナー」の運営にあたっては、今後 も白樺文学館、杉村楚人冠記念館 と連携していくことが欠かせない。 また、他の市内文化施設とも連 携して展示や資料提供の工夫をし ていく必要がある。	A. 現状どおり推進  郷土資料の買い替えや複本の購 入を進め、市役所各課と連携す ることで、我孫子市でしか入手で きない資料を収集・保存・提供 できた。我孫子市として後世に 伝えていくべき文化遺産を今後 も収集・保存・提供していくた め、引き続き推進していく。	なし	図書館
	20	図書館の情報化推進  図書館の電算システム等を運用し 、市民の利便性の向上を図ると ともに、過去の出来事や事件を 手軽に調べることができる新聞 の有料データベースにより情報 提供を行い、知る自由を保障す る。	図書館電算システム及び事務機 器等を運用し、トラブル等に対 処した。館内検索コンピュータを 運用し、利用者サービスに努め た。新聞記事の有料データベー スを活用して、利用者サービス に努めた。  ◇◆指標と実績◆◇ 【インターネット及び館内検索 コンピュータからの予約(リクエ スト)受付件数(年間)】 94千件 (前年度比 97%)	A. 成果・効果があった  高度なレファレンス(調べもの) に対応するため、外部データベー スの導入及びインターネットの 活用は必要不可欠だった。電 算システムを的確に運用すること により、市民の利便性が向上し た。  市民の図書予約システムの認知 度を向上させる必要がある。	A. 現状どおり推進  次期電算システムの更新(令和 4年1月)に向けて事務を進め ていく。	電算システムの更新に伴い、ホ ームページのリニューアルを実 施する。	図書館
	21	鳥の博物館ホームページの運 営  鳥の博物館専用ホームページ を運営し、鳥の博物館のイベ ント情報、企画展のお知らせ等 、博物館事業の情報提供を行 う。	鳥の博物館で実施する企画展 やイベント情報など最新情報を 発信した。  ◇◆指標と実績◆◇ 【鳥博トップページアクセス 数】 62929回	A. 成果・効果があった  全国に広く鳥博の展示・イベ ント情報を発信するほか、ショ ップグッズについてもオリジナル 商品を紹介し、多くの人に鳥博 を知ってもらう。  更に多くの方に来館してもら えるよう工夫をする。	A. 現状どおり推進  より魅力ある情報を発信して いく。	なし	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
②学びにつなげるための相談体制の充実		②学びにつなげるための相談体制の充実				
22	生涯学習学習相談体制の整備 市民一人ひとりの学習ニーズに対応した学習相談に応じるため、さまざまな学習情報を収集し、提供できるよう学習相談体制を整備する。	生涯学習センター「アビスタ」を拠点に我孫子市内外で行われている様々な学習情報の収集と提供を行う。また収集した情報を活用した学習相談を行う。 各課で実施している生涯学習関連事業や学校等で活躍している地域の方の人材情報や団体情報・イベント情報を収集し、インターネット等で市民に情報を提供する。 《出前講座メニュー表》 【発効日】随時発行 【内容】生涯学習出前講座の利用方法、メニュー、市民講師プロフィール  ◇◆指標と実績◆◇ 【学習相談件数】209件	A. 成果・効果があった 市民講師講座数自体は微減だったが、3月がコロナウイルスの影響で出前講座を実施出来なかったにも関わらず、利用件数は昨年並みであった。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
23	生涯学習人材バンクの整備 市民の能力、経験や学習の成果をボランティア活動や市民活動に活かすため、絶えず人材情報や生涯学習団体情報のデータ更新を行い、情報の提供を行う。	「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」について、3年ごとに定期更新を行い最新の情報へ更新する。また、随時登録募集を行い、情報数を増やすとともに、問い合わせに対し迅速に回答できるようデータ管理をした。 【令和2年度末 人材情報登録件数】 令和2年度 75人 【令和2年度末 団体・グループ情報】 令和2年度 133団体  ◇◆指標と実績◆◇ 【新規登録件数】 人材情報 1件	A. 成果・効果があった 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」をホームページや閲覧用冊子で参照した方から多数の問い合わせがあり、登録者・登録団体をを紹介することで活動を始めようとする市民を支援した。	A. 現状どおり推進 「生涯学習人材情報」、「生涯学習団体・グループ情報」を3年毎に更新する。次回令和3年度予定。	なし	生涯学習課
24	生涯学習ボランティア 出前講座市民講師登録等のボランティア登録を担当課で行い、市民が持つ様々な経験や専門的知識を活かせる場を提供する。	市民が持っている様々な経験や専門的知識を活かせる機会の提供と生涯学習に関わるボランティアの活用を図った。 《子ども支援課》 宿泊通学スタッフ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) あびっ子クラブサポーター 212人 《保育課》 子育てボランティア 2人 子育て支援サポーター 62人 保育園における災害時協力員 37人 インターンシップ 0人(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止) 《指導課》 学校支援ボランティア 延29,332人 19団体 《文化・スポーツ課》 文化事業市民スタッフ 22人 旧村川別荘ボランティア 30人 白樺文学館 演奏ボランティア 35人 白樺文学館 朗読ボランティア 6人 《鳥の博物館》 鳥の博物館市民スタッフボランティア 24人 《図書館》 図書館市民スタッフ(読書普及スタッフ) 13人 図書館市民スタッフ(対面朗読スタッフ) 5人 《生涯学習課》 生涯学習出前講座市民講師 44人、10団体 保育市民スタッフ事業(学習中の保育) 12人  ◇◆指標と実績◆◇ 【令和2年度 ボランティア登録数】 《個人登録数》 504人 《団体登録数》 29団体	A. 成果・効果があった 多くの市民の方にボランティア登録してもらい、市民ボランティアのサポートを受け、生涯学習を推進した。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課他6課

基本目標 1 ②学びにつなげるための相談体制の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	25	視聴覚教材・機材の管理及び貸出  現在保有する視聴覚教材・機材を維持管理して有効活用するとともに、視聴覚教材及び機材を保全し、これらの貸出業務をもって、市民の生涯学習活動を支援する。	<p>保有する機材・教材を有効活用し、貸し出しを行う。</p> <p>●視聴覚教材及び機材の貸出(通年) 【対象者】市内に在住又は在勤し、営利を目的としない者 【視聴覚機材利用件数】 101件 【視聴覚教材利用件数】 16ミリフィルム:0件 ビデオソフト:0件 DVD:0件 合計 0件</p> <p>●機材・教材保有状況 ・16ミリ映写機、液晶プロジェクター、ポータブルアンプレットなど約15種類の機材 ・16ミリフィルム:327本 ・ビデオソフト:187本 ・DVD: 231本</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【視聴覚ライブラリー利用件数(機材・教材の合計)】 101件(団体・個人)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>定期的に使用している団体があり、コロナ禍でも一定の需要があった。</p> <p>16mmフィルムがVHSへ、VHSがDVDへDVDがブルーレイへと規格が変化しているが、デジタル技術の進歩によって、上映機材が姿を消すと、ソフトを持っていても見られなくなってしまった。また、機材は大丈夫でも、フィルム等の劣化によって、ソフトが見られなくなることもある。せっかく購入した市の財産が価値の無いものになってしまうために、たとえば16mmフィルムを専門業者に出して、デジタルデータに変えてもらうことも検討すべきかもしれない。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>休校や在宅勤務の増加によって、子どもを預かる施設もあるので、自粛ムードがもう少し緩和されれば、施設内でのイベント開催にもつながると考えられる</p>	なし	生涯学習課
	26	図書館カウンターサービス  図書館資料の利用により、市民が知る自由を享受し、より豊かな生活を送ることが出来るよう、自主的な学習活動を支援し、幅広い学習機会を提供する。	<p>・図書館資料(図書・雑誌・CD・カセットテープ)の貸出・返却を行った。また、返却された図書館資料を元の書架に戻し、書架整理を行った。</p> <p>・図書館サービス向上のため、年末年始(12月29日～1月4日)を除く祝日を開館した。また、アビスタ本館は午後8時まで開館した。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休館・再開の経過 4月1日～4月8日 アビスタ本館のみ臨時窓口設置、湖北台分館・布佐分館・移動図書館休館 4月9日～5月28日 完全臨時休館 5月29日～6月22日 アビスタ本館・湖北台分館・布佐分館にて、臨時窓口設置 アビスタ本館・布佐分館にて子ども向けに「おうちでよむよむセット」貸出 6月3日～6月16日まで 移動図書館の予約本のみ貸出再開 6月17日～移動図書館巡回再開 6月23日～一部サービスを限定して、図書館再開</p> <p>・窓口において、利用登録の受付、市民が求める資料を探し出すための援助、調査研究の援助、複写サービスを行った。</p> <p>・利用者の求める図書館資料が貸出中または所蔵していない場合に、予約を受け付けて提供するサービスを行った。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【相談業務受付件数】 26,396件 【年間貸出冊数】 690,552冊(前年度比 70.2%) 【年間貸出利用者数】 178,679人(前年度比 68.8%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>新型コロナウイルス感染症のため休館などもあったが、開館後は感染対策を取りつつ一部サービスを縮小しながらサービスを行った。幅広く奥深い調査研究への援助等も自主的な学習活動の充実には必要不可欠だった。</p> <p>研修への参加及び個別指導等により、職員だけでなく会計年度任用司書職員(司書)のスキルアップを行う必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>市民が学びたい時に学べる学習機会の充実が必要であり、今後も引き続き推進していく。</p>	なし	図書館
	27	図書館利用に障害のある方へのサービス  録音図書の貸出や、図書の郵送貸出等、ハンディキャップを持つ人の特性に合わせた幅広いサービスを提供することにより、学びたい時に学べる学習機会の充実を図る。	<p>ハンディキャップを持つ方のニーズに応じて、目の不自由な方へのサービスとして「デジ録音図書作成・貸出事業」「対面朗読サービス」「郵送貸出サービス」、身体の不自由な方へのサービスとして「宅配サービス」、耳や言葉の不自由な方へのサービスとして「FAXでのリクエストの受付サービス」を行なった。</p> <p>また、ハンディキャップサービスのPRを行なった。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【宅配・郵送・対面朗読等年間利用件数】 《対面朗読サービス》 14回 《郵送貸出サービス(デジ録音図書含む)》 1,139回 《宅配サービス》 143回 《窓口でのデジ録音図書貸出》 423点 合計 1,296回、423点</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>様々なサービスを提供することによって、ハンディキャップがある市民に対して、学びたい時に学べる機会を提供し、「知る権利」を保障することができた。また、新型コロナウイルス感染症の影響により図書館が臨時休館となった期間があったため、対面朗読サービスの利用回数が前年度よりも減少したが、影響の少ない郵送貸出サービスの利用件数が増加した。</p> <p>視覚や身体に障害がある人は、図書館を利用すること自体あきらめてしまう場合がある。障害がある市民も図書館サービス(ハンディキャップサービス)を利用できることを周知し、利用者を増やす必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>様々なハンディキャップがある市民の「知る権利」を保障するためにPR等の工夫をし、一層の利用促進に努め、個々のハンディキャップに合わせた対応を行う必要がある。</p>	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
③学びへの関心を高めるための啓発の充実		③学びへの関心を高めるための啓発の充実				
28	交通安全普及啓発活動の推進 警察署、交通安全協会と連携し、交通安全教室の実施等、実践的な交通安全啓発活動を充実させ、交通安全普及啓発を図る。	保育園、幼稚園、小中学校へ出向き、警察署、交通安全協会と連携・協力して交通安全教室を開催する。 模擬信号機、模擬交差点、車両等を使った安全な歩行実習、自転車の乗り方実習をします。 また、必要に応じてDVDやビデオ教材等を使いながら事故事例をもとに、交差点での横断の仕方、自転車の正しい乗り方と自転車側の過失による損害賠償などを学習します。 なお、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、概ね中止となりました。 【日程・対象・参加者数】 <4月～2月実施> 延べ実施校等: 保育園 1園・幼稚園 0園・小学校 0校・中学校 0校・高校 1校 延べ開催回数: 2回 参加人数: 70人  ◇◆指標と実績◆◇ 【交通安全教室延べ開催回数】 2回	A. 成果・効果があった 我孫子市の交通事故発生件数は、令和元年では242件と前年より38件減少となった。 このうち子ども(中学生以下)の発生件数は令和2年は8件。前年より7件減少となった。 小中学校での交通安全教室における実技実施に際し、実施校や教育委員会にもスタッフとして人員協力をお願いしたい。	A. 現状どおり推進	前年度から変更はありません。	市民安全課
29	集団健康教育 保健センターで実施する各種がん検診等の場で、生活習慣病予防のための健康教育を実施する。	集団でのがん検診等の場(子宮頸がん検診、乳がん検診、胃がん検診、骨粗しょう症検診)で待ち時間等を利用し、チラシ等を配布するなど生活習慣病予防等の啓発、健康教育を実施する。 【内容】がん、禁煙、歯の健康、ロコモティブシンドローム等 【場所】保健センター 【参加者(延べ人数)】延べ実施人数7,473人(集団: 子宮頸がん検診2,188人、乳がん検診3,367人(マンモグラフィ検査2,547人、超音波検査820人)、胃がん検診1,494人、骨粗しょう症検診424人)  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者(延べ人数)】 7,473人	A. 成果・効果があった 疾病の一次予防の推進を図ることができたと考える。 集団検診での健康教育のみの効果評価が難しい。	A. 現状どおり推進 集団検診での健康教育は、定期的に一定人数に啓発できる場であり、内容検討しながら継続実施とする。	なし	健康づくり支援課
30	健康フェア 健康寿命の延伸に向けて、市民が普段から健康増進に努め、病気の原因となる危険因子を予防・改善する“一次予防”に取り組めるよう、健康に関する啓発を行う。健康づくりに関する情報提供や健康相談、ニュースポーツなど様々な健康づくりの取り組みを紹介し、健康における運動習慣の重要性に関する啓発を行う。	市民の健康づくりを目的とした健康フェアを開催。新型コロナウイルス感染症の流行により、会場開催を中止した。 【日程】11月9日～15日 【場所】アビスタストリート(パネル展示) 【主催】健康フェア実行委員会(医師会・歯科医師会・薬剤師会、市、市民活動団体、健康フェアに協力する市民等) 【内容】テーマ「家族で健活イキイキライフ」健康づくりに関するパネル展示、ホームページでの動画掲載を実施。  ◇◆指標と実績◆◇ 指標: 来場者アンケート ≪「健康フェアに参加して健康についての意識が高まった/とても高まった」と答えた割合≫ 展示開催のため、アンケートは未実施。	A. 成果・効果があった 会場開催は実施できなかったが、動画を別イベントとコラボし、掲載していただくこともできた。会場開催とは違ったかたちで、市民に健康づくりを周知できたと考えます。 会場開催にて、市民の方に直接健康づくり情報を伝えることができなかった。新型コロナウイルス感染症の状況によるが、感染症対策を講じた上で会場開催できるかどうか検討していく必要がある。	B. 改善・見直しを行う 新型コロナウイルス感染症の流行により、令和3年度については展示開催。	新型コロナウイルス感染症の流行により、展示開催。	健康づくり支援課
31	廃棄物に関する教育啓発事業 我孫子市におけるリサイクルの流れや廃棄物処理の実情を紹介し、生活から排出される「ごみと資源」について共に考え、廃棄物行政への理解とごみの減量、リサイクルの推進を図る。	イベントや小学生を対象にした施設見学は、新廃棄物処理施設建設工事が完了する令和4年度末まで休止。 広報やHP、SNSを活用し排出抑制やリサイクルのための分別の呼びかけ  ◇◆指標と実績◆◇ 【最終処分量】3,377t 94.76% (目標値3,200t)	A. 成果・効果があった 【最終処分量】3,377t 94.76% (目標値3,200t) 広報やHP、SNS以外の手段を研究していかなければならないこと。	A. 現状どおり推進 イベント、施設見学を除き現状通り。	なし	クリーンセンター

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
32	石けん利用の推進 石けんの利用を通して、私たちの生活と環境とのかかわりに関心を持ってもらい、手賀沼浄化など環境改善につなげる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●せっけん学習会 《手賀沼流域フォーラム》 【日程】7月18日【場所】アビスタ【参加者数】12人</li> <li>●イベント参加 《ママへのごほうびフェスタ》 新型コロナウイルス感染拡大防止により、石けん啓発パネルの展示のみ実施 【日程】9月26日【場所】アビクオーレ1階正面エントランス【参加者数】364人</li> <li>《第45回我孫子市消費生活パネル展》 消費生活パネル展において、石けん啓発用パネルの展示 【日程】令和3年2月2日～2月15日【場所】アビスタストリート【参加者】1,040人</li> </ul> ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者数】 1,404人	A. 成果・効果があった 石けん学習会においては、親子で参加することで、コミュニケーションの場として、学ぶことの楽しさを提供することができた。また、石けんに興味をもってもらうことができた。	A. 現状どおり推進 事業としては現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染の影響を考慮し、実施できる事業として販売調査を個別に行うことや参加人数を制限した子どもと親対象の環境学習会などを行う。	なし	商業観光課
33	小学校『歯磨き・食育指導』事業 乳歯から永久歯への交換期である児童の歯・口の健康づくりを目指すため、小学生に対して歯磨き・食育指導を実施する。	歯科指導は未実施。 ◇◆指標と実績◆◇ 【給食後の歯磨きを実施している学校数】 2校	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症予防のため、学校が臨時休業となり、歯科衛生士の指導時間の確保が困難となったため、令和2年度の歯科指導は実施しなかった。感染症予防対策ができた学校は、給食後の歯磨きは継続。 各校での給食後の歯磨きは、学校長の判断により児童生徒に対する水道の数等の関係で、学校での取り組みができないところが多かった。	B. 改善・見直しを行う 新型コロナウイルス感染症対策(飛沫予防)のため、来年度は小学5年生を対象に講話のみの歯科指導を行う。学校により、希望があれば他の学年も講話のみの歯科指導を実施する。	小学5年生に対し、講話で歯科指導を実施。その他、各校の希望により、他の学年も実施。	学校教育課
34	生涯学習推進計画事業実施状況調査 市民が主役の生涯学習の推進を図るため、我孫子市生涯学習推進計画に基づく生涯学習関連事業の実施状況調査を実施し、その進行管理や調整を行う。	第三次生涯学習推進計画前期実施計画に基づく事業の令和元年度実施状況の具体的内容や成果・課題、また、令和2年度の実施予定内容など関連事業の調査を行った。 令和3年度から始まる後期実施計画策定のための基礎資料として、平成28年度～令和2年度の前期実施計画5年間の状況をまとめた。 ◇◆指標と実績◆◇ 【事業評価結果】 令和元年度 A成果・効果があった 166事業 Bあまり成果・効果がなかった 1事業 C未実施・わからない 5事業	A. 成果・効果があった 生涯学習に係る事業の進捗状況を把握することができた。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
35	生涯学習推進委員会の運営 生涯学習を総合的に推進するため、生涯学習推進計画の策定のほか、生涯学習に関する施策や各課で行われている生涯学習関連事業の進行管理、総合調整を行う。	※平成10年に「我孫子市生涯学習推進本部設置要綱」を制定してから20年以上が経過し、生涯学習に係る取組が全庁的に浸透してきたことに加え、事業の効率化・見直しを図る観点から、組織の簡素化の一環として同要綱を廃止し、その趣旨を継承する「我孫子市生涯学習推進委員会設置要綱」を令和2年5月1日制定した。委員会の構成は、企画課、市民活動支援課、健康づくり支援課、子ども支援課、手賀沼課、クリーンセンター、都市計画課、学校教育課、指導課、文化・スポーツ課、生涯学習課、図書館の12課。 ●生涯学習推進委員会会議 《第1回》【日程】令和2年9月30日(水) 【議事】 1 前期実施報告について 2 後期実施計画について 3 新たな生活様式における生涯学習とは 4 今後のスケジュールについて 《第2回》【日程】令和3年2月3日(水) 【議事】 1 後期実施計画(案)について ◇◆指標と実績◆◇ 【委員会開催数】 2回	A. 成果・効果があった 第三次生涯学習推進計画 実施計画に基づく事業を行って行く中で、各課が抱える問題に対して情報共有を図ることができた。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

基本目標 1 ③学びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
36	健康スポーツ普及事業  市民の健康の保持・増進等を図るためスポーツ推進委員などと連携し、総合型地域スポーツクラブの育成・支援を行う。市民が気軽に参加できるスポーツイベント等を開催し健康スポーツの普及を図る。多様化するスポーツニーズに対応するため、市独自のスポーツ指導者養成講座を開催。スポーツ指導者の方向性を統一し、我孫子市のスポーツ活動が安全・安心に展開できるよう指導者の育成を図る。	<p>●ボールゲームフェスタの開催 【場所】我孫子市民体育館 【日程】令和2年3月6日(日)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 【対象者】 午前小学1年生から小学3年生までの児童と保護者 午後小学4年生から小学6年生までの児童、生徒 《総合型地域スポーツクラブ》 ・市内6つのクラブにおいて、ペタンク・ショートテニス・健康体操・太極拳・卓球等の活動を通し、総合型地域スポーツクラブとして活動する。 ・各クラブは毎週土曜・日曜日に活動している。 ・各クラブの活動の他に6クラブ連絡交流会を組織しており、6クラブ合同事業としてウォークラリーや市民のチカラにおいて総合型地域スポーツクラブの紹介映像やニュースポーツにデモンストレーションを行う。</p> <p>●体育協会の委託事業 《市民体育大会》 《チャレンジスポーツフェスタ》 【日程】9月19日(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 《新春マラソン大会》 【開催日】1月24日(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 《ファミリースポーツテスト》 【開催日】6月21日(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) ●スポーツ指導者養成講座 【場所】教育委員会大会議室 【日時】令和2年11月29日(日)・12月6日(日)・20日(日)の3日間 【対象者】日本オリンピックスポーツ協会公認資格である「スポーツリーダー」の資格取得を目指す市民及び、有資格者のうち我孫子市独自講義を受講する市民</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 《総合型地域スポーツクラブ》 【会員数】410人 ●イベント参加者数 《市民体育大会》【参加者】617人 《チャレンジスポーツフェスタ》【参加者】0人(中止) 《新春マラソン大会》【参加者】0人(中止) 《ファミリースポーツテスト》【参加者】0人(中止) ●スポーツ指導者養成講座【受講者】12人</p>	<p>C. 未実施・わからない</p> <p>様々なスポーツイベントを行うことで、市民の健康保持・増進に寄与することができると考えられるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止とした。</p> <p>コロナ禍でのイベントの開催方法や参加者数を増加させるため、申込方法や周知方法の検討が必要である。</p>	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
			37	読書普及活動  依頼された市民団体の元へ出向き、読み聞かせや読書案内を行うことによって、市民の読書への関心を高め、図書館の利用促進を図る。	<p>出前講座として、「大人が楽しむおはなし会」(成人・高齢者向けに絵本や紙芝居の読み聞かせ、語りなどを行う)を設け、市民団体からの依頼に対し、職員や市民スタッフが出向き、講義や読み聞かせ等を行なった。また、出前講座以外でも、市民団体、学校などからの依頼に対し職員や市民スタッフを派遣した。 「離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ」はコロナ感染症拡大防止の為4~8月と1月に休止した。9月より感染対策の為、個別案内方式をやめ、利用者との距離をとった集団案内方式に変更して実施した。 ・出前講座「大人が楽しむおはなし会」(随時) ・職員派遣(随時) ・離乳食教室での乳児と保護者への読み聞かせ(月1回) ・出張おはなし会(随時)</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【出前講座及び職員派遣先、出張おはなし会、離乳食教室での読み聞かせの実施回数(年間)】 8回(前年度 30回)</p>	

基本目標 1 ③ 学びへの関心を高めるための啓発の充実  
いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 1 いつでも情報を得られ、相談できるまちづくり	38	図書館PR  図書館利用促進のためのPRや情報提供を行い、多くの市民に図書館サービスを周知する。	図書館のホームページにおいて、利用促進のためのPR及び情報提供を行なった。「我孫子市の図書館」「たんた新聞」等の刊行物を発行した。  ◇◆指標と実績◆◇ 【ホームページの年間アクセス数】1,060,664件（前年度 1,374,370件）	A. 成果・効果があった  図書館資料の予約受付総数のうち、78%がホームページからのオンライン予約であり、インターネットサービスに対する利用者のニーズの高さが確認された。  ホームページの作成、「たんた新聞」等刊行物の企画・編集・印刷等には、作業時間の確保が必要である。	A. 現状どおり推進  図書館の情報提供及びPRにおいて、ホームページは有効な手段なので、新規利用カード登録者に対するホームページの利用を促進するとともに、利便性の高いホームページとなるよう努めながら、今後も引き続き推進していく。	なし	図書館
		鳥博セミナー・イベント等の教育普及活動  鳥類や自然科学への理解を深めることを目的に専門家による講演会を実施する。また、工作を楽しむ機会や、観察・体験の機会を提供するため、身近な材料でできる工作や、観察・体験を中心に実施する。	●講演・講座 《鳥博セミナー》 例年鳥の博物館2階レクチャールームを会場として実施しているが、今年度は新型コロナウイルス感染症対策の為にインターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】12月12日(土)【最大同時視聴者数】122人 《鳥学講座》 毎年ジャパンバードフェスティバルのエントリーイベントとしてアビスタ(我孫子市生涯学習センター)1階ホールで実施していたが、新型コロナウイルス感染症対策の為に会場での実施は中止し、インターネットを利用したオンライン形式で実施した。 【日程】11月7日(土)【最大同時視聴者数】257人 《ゲストトーク》 新型コロナウイルス感染症対策のため、ジャパンバードフェスティバルはすべてオンラインとなり、出展する来場団体が無いため中止した。 ●フロアスタッフイベント 《鳥のゴムバンドをつくろう》【日程】5月10日(日)、《鳥風教室》【日程】5月5日(日)を鳥の博物館友の会との共催で企画していたが、新型コロナウイルス感染症対策の為に中止した。 《夏の遊びと研究大集合！》(8月1日から8月9日までに全4回実施) 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、感染症対策を講じたうえで規模を限定して実施した。 【日程】 8月1日(土)鳥の翼のうちわ【参加者】25人 8月2日(日)鳥のグライダー【参加者】45人 8月8日(土)コウノトリグライダー【参加者】26人 8月9日(日)鳥のグライダー【参加者】29人  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者数】 《講演・講座》 379人 《フロアスタッフイベント》 0人	A. 成果・効果があった  各講座では鳥に関する興味深い話を各分野の専門家から直接聞く機会を設けることができ、オンライン開催を行うことにより遠方の方からも多く視聴してもらった。イベントにおいては規模を縮小して行ったが、小学生と保護者による参加が多数あり、若い世代の市民に鳥の博物館の存在をPRすることができた	A. 現状どおり推進	なし	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり					基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	
①地域への関心を高める学びの機会の推進					①地域への関心を高める学びの機会の推進	
41	子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)  放課後に子どもたちが安全・安心に過ごすことのできる環境を整備し、地域の方の協力を得て異年齢間の交流や様々な体験を通して子どもの成長を育む。	※担当課の進行管理による				子ども支援課
42	谷津ミュージアムづくり推進事業  手賀沼沿いで最も谷津の地形と自然環境が残されている岡発戸・都部地区の谷津36.7ヘクタールをまるごと保全し、かつての農村環境の復活を目指す。	●谷津の自然観察会 【日程】 8月2日(日) 参加人数:56人 11月21日(土) 参加人数:35人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ●谷津の自然観察会(近隣小学校2校) 季節ごとに自然観察会を実施(春の観察会はコロナの影響で中止) 計6回 参加者 計436名 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津) ●谷津内にてテレビ番組の取材 6月26日(金) 参加人数:7人 【場所】谷津ミュージアム(岡発戸・都部の谷津)  ◇◆指標と実績◇◆ 【谷津ミュージアム内の維持管理作業等参加者延べ人数】 1,937名	A. 成果・効果があった  各自然観察会や維持管理作業を通して、谷津ミュージアムの維持管理を行うボランティア団体の会員拡大に繋がった。また、テレビで放送いただいたおかげもあり、谷津に興味を持っていただく方が増えていて、谷津ミュージアムの知名度や魅力発信にも繋がった。  ボランティアの高齢化によるイベント関連の取り組みがいつまで持続できるのか、また、それに対して新たなボランティアをどのようにして募集するのが課題。	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課
43	手賀沼船上学習の実施  遊覧船で手賀沼を一周しながら小学生や市民に手賀沼汚濁の歴史や状況などの話を船上学習を開催し、手賀沼の浄化啓発を図る。	小学校及び市民団体等からの視察を随時受け付け、船上学習を実施する。 ●手賀沼船上学習 【参加者】317人  ◇◆指標と実績◇◆ 【市内小学校実施数】 2校(13校中) 【その他団体】 2団体	A. 成果・効果があった  市内の小学生や市民団体に向けて手賀沼の歴史を教えるだけでなく、実際に船に乗りながら鳥などの生き物も見ることができたため、非常に人気である。	A. 現状どおり推進	感染症対策として、遊覧船の定員を35人から15人に減らして運営。	手賀沼課
44	手賀沼流域フォーラムの開催  市民団体が中心となって水質改善や環境保全活動を展開する手賀沼流域フォーラムの開催を支援する。	●地域イベントの開催 柏、我孫子、流山、松戸、鎌ヶ谷、白井、印西の手賀沼流域7市各市民団体によるイベントを開催する。 ●全体会の開催 子ども向けワークショップ「葉っぱスタンプで手賀沼流域を彩ろう!」 【日時】10月24日(土) 【場所】アビスタホール  ◇◆指標と実績◇◆ 【我孫子企画の開催回数】 7回	A. 成果・効果があった  各市の木画数について、柏7企画、松戸1企画、鎌ヶ谷2企画、白井1企画、印西市1企画、我孫子市11企画と、我孫子市がもっとも多かった。 また、2021年より開始された外来水生植物駆除の経過観察や調査事業を実施。さらに、ハスの消失についても現状の把握と原因の特定に努めた。  新型コロナウイルス感染症の影響で募集定員を減らしたり、中止になったイベントがあった。	A. 現状どおり推進	変更なし	手賀沼課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進	45	<b>ジャパンバードフェスティバルの開催</b>  自然のシンボルである鳥たちの魅力を題材とした文化的・芸術的なイベントを開催し、鳥類知識の普及や、手賀沼などの自然環境保全に関する情報の受発信を推進する。	人と鳥の共存をテーマに、出展団体間の情報交換促進のほか、野鳥を通じて自然環境に興味・関心を持ってもらう。 <b>【開催日】</b> 11月7日(土)、8日(日) <b>【開催場所】</b> ジャパンバードフェスティバル公式ホームページにてオンライン開催 <b>【事業内容】</b> 今年度は会場開催を取り止め、オンライン開催に変更。JBFならではのイベントや講座を動画で配信したほか、出展予定だった団体からのPRメッセージ掲載や全日本鳥フォトコンテスト作品展示等により、JBF公式ホームページの充実を図った。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【実行委員会及び企画運営委員会の回数】</b> 7回	<b>A. 成果・効果があった</b>  新型コロナウイルス感染症の影響で会場開催を中止し、オンラインで開催した。多くの方に画面を通じてJBFをPRすることができた。  オンライン開催とした場合の収入の確保が課題。	<b>B. 改善・見直しを行う</b>  新型コロナウイルス感染症の状況を注視し、早めに開催方式を決定する。また、オンライン開催になった場合には収入の確保に努め、財源が減少しないよう注意する。	昨年に引き続き会場開催を中止し、オンラインおよび一部現地で開催する。	鳥の博物館・光賀沼課・商業観
	46	<b>地区計画制度の活用の支援</b>  市民が地区計画制度を活用して、宅地開発などにより整備された良好な住環境を保全することを支援するため、ホームページなどによる制度の周知や出前講座を行う。	地区計画制度の説明パンフレットやホームページを活用して、市民や事業者に対して正確に情報提供を行う。 <b>●パンフレット</b> <b>【配布場所】</b> 市役所都市計画課 <b>【配布部数】</b> 部 (集計不可のため部数未記入です。申し訳ありません。9地区の地区計画エリアに該当する場合や参考までに欲しいという場合も含めて、必要に応じて窓口対応時に配布しています。)  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【ホームページ閲覧数】</b> 計3123件 (地区計画～市民主体のまちづくり～:1650件、我孫子市の都市計画…地区計画等:878件、市街化調整区域における地区計画運用基準:595件) <b>【地区計画の区域内における行為の届出件数】</b> 51件	<b>A. 成果・効果があった</b>  市民及び事業者に正確に情報を提供することができた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし	都市計画課
	47	<b>我孫子産農産物の学校給食導入事業</b>  児童生徒に、米を主食とした食生活や食文化の大切さを伝え、地元農産物への興味・関心を高めるため、我孫子産の米や野菜を学校給食に導入し、地産地消の観点から食育を推進する。	<b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米認知度・小学校83.0%、中学校96.0% 我孫子産野菜認知度・小学校81.0%、中学校95.0% 我孫子産野菜使用・月平均2.5回使用 品数・3.9品目、 使用割合は4.77% <b>●米飯給食</b> 米飯給食回数4.1回/週実施した。(8月を除いても含んでも同じ) <b>●和食の実施</b> 実施率 平均41.8%(8月含む) 8月を除くと44.6% ※4.5月は休校で給食なし  ◇◆指標と実績◆◇ <b>●我孫子産米・野菜が給食で使用されていることを知っている児童・生徒</b> R2指標 90%、実績86.5%	<b>A. 成果・効果があった</b>  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米・我孫子産野菜の認知度は若干低下したが、おおよそ現状維持はできた。 <b>●米飯給食</b> <b>●和食の実施</b> 米飯・和食給食を推進し、児童生徒に体験を通して食文化や日本型食生活の良さを伝えることができた。  <b>●我孫子産米・我孫子産野菜</b> 我孫子産米・野菜の認知度を維持するとともに、児童生徒の食に関する選択力・自己管理能力を高めたい。 <b>●米飯給食</b> <b>●和食の実施</b> 米飯給食、和食給食の推進が食育に寄与していることの具体的な評価が難しい。	<b>A. 現状どおり推進</b>  我孫子産米・我孫子産野菜を活用した学校給食を教材として、系統的、継続的に食育指導を実施し、児童生徒の興味関心、食に関する選択力、自己管理能力を高めていく。	変更なし	学校教育課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		前年度からの変更点
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの推進	①地域への関心を高める学びの機会の推進	49	<b>市史調査研究</b> 市内に残る古文書、古記録、石造物、寺社、建造物などの歴史・文化遺産を現地調査し、市民からの聞き取り調査や資料収集を通じて調査研究を進める。 ●資料調査 井上家資料資料目録に掲載された資料の読解とデータ作成を行い、活用に備える。 ●古文書管理 市内諸家文書の問い合わせ、資料閲覧対応 ●和紙公図の保存修復 和紙公図を専門業者に委託して保存修復し、データ化する。  ◇◆指標と実績◆◇ 市史関係図書の刊行数 2冊 和紙公図の保存修復 74枚(修復済み409枚、未修復403枚)	A. 成果・効果があった  井上家資料や和紙公図のデータ化を進めることで、一般の閲覧の対応が円滑になった。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
		50	<b>郷土芸能への支援</b> 郷土芸能の発表の場を設けることにより、継承者の意識の高揚と団体内の活性化を図る。  我孫子市に伝わる神楽舞や祭囃子などの民族芸能を発表する郷土芸能祭を、教育委員会の主催で実施する予定。 新型コロナウイルス感染症感染防止のため、無観客公演とし、YouTubeにて動画配信を実施した。 【日程】令和2年12月6日(日)無観客公演 令和2年12月28日(月)YouTube配信 【場所】湖北地区公民館 【出し物】神楽舞、祭囃子、獅子舞 【出演】あびこふるさと会、古戸はやし連中、(ゲスト出演)邦楽集団かさね ※ひよつとこ睦、我孫子第4小学校伝統芸能クラブ、湖北小学校伝統芸能クラブ、布佐小学校伝統芸能クラブ、布佐中学校郷土芸能講座は出演辞退  ◇◆指標と実績◆◇ 【YouTube再生回数】 令和3年1月20日時点で 644件 無観客公演のため来場者 0人	A. 成果・効果があった  新型コロナウイルス感染症のため規模を縮小し、観覧方式を動画配信に変更した。動画配信としたことにより、来場が困難な方や幅広い年代の方に鑑賞してもらうことができた。 古くから伝わる郷土芸能を次世代に継承させるために、今後も事業の推進をしていきたい。	A. 現状どおり推進	舞台公演での実施。 実施施設の利用制限を厳守し、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い実施する。	文化・スポーツ課
		51	<b>文化財の指定調査と保存支援</b> 指定文化財制度・登録文化財制度の活用を行うことにより、時代の流れにより滅失しやすい有形・無形文化財の保護を行う。  ●指定文化財・登録文化財制度の活用 所有者同意を得て市指定文化財化をはかり、適切な管理を通じて保存につなげる。 ●文化財保存基金 文化財の保存や活用に役立てるため、基金への募金を募り、また、計画的な積立を行う。 ●指定文化財への保存支援 市指定文化財の整備や維持管理のための補助金の活用を進める。 ●文化財の維持・管理 県指定史跡水神山古墳の草刈りを実施する。 県指定天然記念物東源寺権の木施肥及び除草を行う。  ◇◆指標と実績◆◇ 【市指定文化財数】 18 件(今年度指定1件含む)	A. 成果・効果があった  補助金の利用や登録有形文化財への希望など、文化財保存への関心が高まったのがわかる	A. 現状どおり推進	クラウドファンディングを利用し、文化財の修復を計画している	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びの機会を推進 ①地域への関心を高める学びの機会の推進	52	埋蔵文化財発掘調査 市内に所在する埋蔵文化財包蔵地において、公共事業、民間開発等に伴って現状変更が行われるのに先立ち、遺跡の記録保存を目的とした埋蔵文化財発掘調査を行う。	【市内遺跡発掘調査】6件 【不特定遺跡発掘調査】5件 【公共事業発掘調査】1件 【民間開発発掘調査】1件 ◆◆指標と実績◆◆ 【必要な発掘調査の実施率】100%	A. 成果・効果があった 調査を円滑に実施できた。	A. 現状どおり推進 住宅の着工等を滞りなく進めるためにも、発掘調査を速やかに、かつ正確に実施していく。	なし	文化・スポーツ課
	53	考古遺物整理 埋蔵文化財発掘調査により出土した遺物を整理して記録保存した内容を、発掘調査報告書として刊行して公開し、市政や教育に活用する。	・「下ヶ戸貝塚」の8分冊目の刊行事業をおこなった。 ・「市内遺跡発掘調査報告書」は令和2年度市内遺跡補助を受けて刊行した。 ◆◆指標と実績◆◆ 【一年間の報告書刊行冊数】2冊	A. 成果・効果があった 報告書の刊行を通じ、下ヶ戸貝塚の全容解明にむけて大きな成果を上げることができた。	A. 現状どおり推進 毎年、報告書を計画的に刊行する。	なし	文化・スポーツ課
	54	あびこ自然観察隊 環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施する。	子どもから大人まで分かりやすい観察会を目指し、環境学習の一環として、我孫子の自然を代表する場所を選び、子どもから大人まで気軽に参加できる観察会を実施。 開催場所は市内各所で、定員30人で実施する。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ◆◆指標と実績◆◆ 【開催数】0回 【平均参加者数/回】 指標:24人 実績:0人	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を減らして実施。	鳥の博物館
55	てがたん（手賀沼の自然観察会） 環境学習の一環として、鳥の博物館周辺の身近な自然に関心を持ち、理解を深めることを目的に観察会を行う。	毎月第2土曜日午前10時から正午までの2時間、子どもから大人まで身近な自然に関心を持つことができるような観察会を実施。毎回約20人の参加者を見込み、鳥の博物館の市民スタッフと協働で実施。 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため中止。 ◆◆指標と実績◆◆ 【開催数】0回 【平均参加者数/回】 指標:24人 実績:0人	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症対策のため中止。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策のため、参加人数を減らして実施	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供		②子どもから高齢者までに対応した学習内容の提供				
56	子どもNPOボランティア体験 子どもや若者を対象に市民活動団体や福祉施設等でボランティア体験できる情報を提供することで、子どもや若者が市民公益活動に参画する機会を増やすとともに、体験を受け入れる団体の活性化を図る(平成26年度から指定管理者事業として実施)。	指定管理者事業の一つとして実施。 ●ボランティアのきっかけづくりのためのプログラム 【タイトル】あびじょプラスマイナス絵本(絵本のシェア)事業の準備 【実施日】3月14日～21日 【内容】寄付された絵本の整理、絵本へのコメントをしおりに書き込む作業 【参加者数】13名 ●情報提供 【タイトル】Abiボラ 【発行回数】HPIにて随時 【内容】ボランティアを募集する団体や募集人数、条件など ◇◆指標と実績◆◇ 【体験受入れ団体数】2団体 【体験者総数】20名	B. あまり成果・効果がなかった あびじょプラスマイナス絵本事業のボランティアを募り、寄附された絵本に挟むしおりづくりとコメント書きというプログラムを春休みに行った。  新型コロナウイルス感染症予防のために受入れを休止する団体・機関がほとんどだったため、情報の収集と発信が滞った。	A. 現状どおり推進	ボランティアのきっかけづくりの講座を、ゴールデンウィークや夏休みなど、学校が長く休みになる期間に実施する。	市民活動支援課
57	後期離乳食教室 乳幼児期後半から幼児期にかけての適切な食事内容、生活リズム、間食のとり方等を学ぶことを通じて、この時期の食習慣が今後の健全な食習慣の形成につながることへの理解を促し、親子共に健康的な食生活を営むことができるよう、食事と歯科衛生に関する実践的な知識の提供をする。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する指導 ・離乳期後半から幼児期に向けて、食事、起床・就寝等を含めた生活リズムの整え方 ・噛むことの大切さ、食形態の変化のさせ方、むし歯予防の話、歯みがき指導 ・間食の意義、適切な与え方 ・家族全体の食事に関する健康教育 【場所】保健センター 【日程】年14回(新型コロナウイルス感染症の影響により、4回中止) 【対象】市内在住の8～9か月の児を持つ保護者。 【令和2年度参加者数】137組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】98.2%	A. 成果・効果があった 集団への健康教育を行うことにより、歯の手入れも含めた食習慣の知識を深めることにつながったため。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
58	しあわせママパパ学級 体の変化が著しい妊娠中に、日常生活・栄養・環境などについて、専門職の健康教育・アドバイスを受けることで、妊娠期を健康に過ごし、お産を無事に迎えられるよう啓発を図る。また夫婦が、妊娠・出産・育児に関して学ぶ場を共有し、子育てや家庭生活における互いの役割について考える機会とする。	●しあわせママパパ学級 【実施日】毎月1コース(1コース3日間)実施 【場所】保健センター 【対象者】妊娠期の夫婦、家族 【実施内容】3日間1コース(平日2コース、土曜10コース) 【委託】千葉県助産師会 【開催コース】9コース(※新型コロナウイルス感染症の影響により3コース中止) 【開催回数】27回(※新型コロナウイルス感染症の影響により3コース中止) 【参加者】妊婦86人(実)、236人(延) 夫、家族 85人(実) 213人(延) ◇◆指標と実績◆◇ 【学級後のアンケート結果】 «「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合» 100%	A. 成果・効果があった 適切な時期に妊娠、出産、育児に関する知識を啓発することにより、「妊娠、出産、育児に関する知識を高めた人」の割合が100%となっている。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課
59	離乳食教室 離乳期において、保護者が適切な離乳食の実践方法を学ぶことを通じて、乳児のすこやかな発育・発達を助けるとともに、家族の食生活を見直すきっかけを作り、生涯において健康的な食生活を送るための知識を提供する。	【内容】 ・成長段階に応じた離乳食の進め方に関する講話 ・大人の食事を利用した離乳食の調理方法 ・保護者・家族向けの食事を通じた健康教育 ・咀嚼に関する講話 【場所】保健センター 【日程】年9回(新型コロナウイルス感染症の影響により、3回中止) 【対象】市内在住の4～6か月の児を持つ保護者。 【令和2年度参加者数】133組 ◇◆指標と実績◆◇ 【離乳食に関する知識を得た人の割合】100.0%	A. 成果・効果があった 離乳食喫食時の口の動かし方を確認するだけでなく、離乳食の調理法や食材の固さについて情報提供を行うことで離乳食に関する知識が深まったと考えられる。	A. 現状どおり推進	なし	健康づくり支援課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	60	手賀の丘フレンドシップ アー 手賀の丘少年自然の家を宿泊場所として、金曜日の放課後から土曜日の午後にかけて、子どもが集団のなかで自己を確立し、心の交流や連帯感を身に付け、社会のルールを養い、自立心や協調性を育む機会を提供する。	※担当課の進行管理による				子ども支援課
	61	あびこ子どもまつり 子どもがまつりの企画から携わり協力しながら自主的に行動し、まつりをつくりあげるとともに楽しむ機会を提供する。参加する子どもは仕事体験シアターという子どもまつりで使える通貨をもらい、使って楽しむという労働体験の場を提供する。	※担当課の進行管理による				子ども支援課
	62	げんきフェスタ 市内の子ども達が、楽しく充実した文化に触れ、地域の中でいきいきと逞しく、創造性豊かに成長する機会を作る。また、それを支える大人のネットワークを広げ、参加する団体の交流と文化の向上を目指す。	※担当課の進行管理による				子ども支援課
	64	子育て支援施設における講習 子どもが安全に遊べる場を設け、親同士や子ども同士の交流を図る。利用者アンケートなどをもとに、毎月各子育て支援施設において、親の子育て力の向上と親子の絆を深めることができる育児講座を工夫して実施する。	市内在住の乳幼児と保護者を対象に、市立の子育て支援施設4か所で行う。 ●育児相談(保健センターと実施)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程】毎月1回～2回 【場所】にこにこ広場 【内容】保健相談・栄養相談・歯科相談 ●プレパパママ講習会(あびこ助産師専門学校との共催)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程】10月、11月 【場所】にこにこ広場 ●歯科医師講習会(我孫子市歯科医師会との共催)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【場所】にこにこ広場 年2回・すくすく広場 年1回 ●育児講座(保健師 栄養士による講座)※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 【日程・場所】各広場年1回程度  ◇◆指標と実績◆◇ 4施設利用者実績 12,899人	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、講座の実施。	新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ、実施可能な設定等を設けて講座を実施する。	保育課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	65	子ども議会  次世代を担う小中学校の児童生徒に、議会制民主主義の理解や我孫子市のまちづくりに関心を深めてもらうとともに、小中学生の市に対する要望や意見を聴き今後のまちづくりの参考にす。なお、子ども議会は、2年に一度開催する。	新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校にともない令和3年度に延期。 【日程】隔年開催のため、未実施年。開催概要は以下のとおり。 【場所】我孫子市議会議事堂 【内容】各小中学校から代表する子ども議員を招集し、市長のまちづくり方針に対する子ども議員からの質問や意見に対する答弁を市役所職員から聞く。実際の市議会の流れとほぼ同様に進行するよう実施する。 【参加者】子ども議員:38人(市内小中学校児童生徒男女各1人) 議会参加者:市長ほか関係職員、教育委員、市議会議員※保護者などの傍聴者は、傍聴席を使用  ◇◆指標と実績◆◇ 【質問する児童生徒数】0人	C. 未実施・わからない  新型コロナウイルス感染症対策のための臨時休校にともない令和3年度に延期。	A. 現状どおり推進	なし	指導課
	66	長寿大学  高齢者として充実した生活を送るため、人間関係を深めつつ、地域の活動や社会の変化に順応した知識を楽しく学び、地域活動、まちづくり等に積極的に参加できるようにする。	【場所】 湖北地区公民館ほか 【内容】 ・市広報等により学級生を募集。4年制の学級で、「健康福祉」「我孫子を知る」「地域交流」「市民活動」などを柱として、令和2年4月から令和3年3月まで年間13回の学習プログラムで実施した。 ・運営委員会、運動会、大学祭、研修など各委員会を組織し活動した。 ・新型コロナウイルスの影響で、入学式が8月になったため学習プログラムも短縮日程となった。 【参加者】 ≪1年生≫39人(R3年2月19日現在) ≪2年生≫45人 ≪3年生≫43人 ≪4年生≫41人  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 168 人	A. 成果・効果があった  学級生自らがボランティア活動を実施する機会が増えた。	A. 現状どおり推進  さらなる機会の拡大に向けて情報提供を拡充する。	令和3年度は、新型コロナウイルスの感染状況を考慮しながら、令和3年4月から令和4年3月まで年間20回の学習プログラムで実施予定。	生涯学習課
	67	成人式  大人になったことの自覚を促し、自ら生き抜こうとする青年を祝い励ます式典を行う。	【日程】1月10日(日) 【場所】けやきプラザ ふれあいホール 【対象者及び人数】 平成12年(2000)4月2日から平成13年(2001)4月1日に出生した市内在住者:令和2年12月14日現在1,263人 ≪第1部≫我孫子中学校区 ≪第2部≫湖北・湖北台及び我孫子特別支援学校卒業の方 ≪第3部≫久寺家・布佐中学校区 ≪第4部≫白山中学校区 【式典企画】 ・恩師からのビデオメッセージと卒業アルバムからの思い出の写真の上映 【記念品】 オリジナルデザインの図書カード ≪企画運営会議について≫ 【日程・内容】 新成人代表による企画運営会議を立ち上げ、成人式の準備を進める。全5回の企画運営会議を実施。 ≪第1回≫ 7月12日 成人式の内容、企画運営会議の役割について ≪第2回≫ 8月 8日 式典企画及び記念品について ≪第3回≫ 9月 6日 式典企画及び記念品について ≪第4回≫10月 4日 式典企画、役割分担及び式次第の色について ≪第5回≫11月 8日 式典企画及び式典台本について  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】 824人 (出席率 65.24%) ≪第1部≫ 249人 (出席率 66.05%) ≪第2部≫ 220人 (出席率 82.40%) ≪第3部≫ 171人 (出席率 51.35%) ≪第4部≫ 184人 (出席率 64.34%)	A. 成果・効果があった  新成人自らが成人式を作りあげること で、代表者・参加者ともに心に残る成人式となった。  新型コロナウイルスの影響により、会場が半数利用となっているためホールが手狭になることが予想される。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	68	<b>熟年備学</b>  高齢期をより豊かな幸せな期間(幸齢期)とするために、高齢社会の諸問題や対処の方法を学ぶ。人生の後半を自立し豊かな暮らしができ、元気な高齢者として地域の高齢者を支えながら、自らハツラツとした人生を送るにはどうしたら良いかを考えるきっかけとする。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)	<b>C. 未実施・わからない</b>  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  コロナ禍の中における講座の内容や有り方、運営方法等について検討する。	<b>A. 現状どおり推進</b>  三密を回避し感染拡大に繋がらないような、学習手法を検討し実施する。	・募集定員の削減 ・会場の変更(大きな会場) ・三密を回避するような学習形態	生涯学習課
	69	<b>家庭教育学級</b>  子育てについての学習や、親同士の情報交換を通して、家庭・親子のあり方を考える機会を提供するとともに、家庭での教育力の向上を図る。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)	<b>C. 未実施・わからない</b>  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  コロナ禍の中における講座の内容や有り方、運営方法等について検討する。	<b>A. 現状どおり推進</b>  三密を回避し感染拡大に繋がらないような、学習手法を検討し実施する。	・募集定員の削減 ・会場の変更(大きな会場) ・三密を回避するような学習形態	生涯学習課
	70	<b>のびのび親子学級</b>  ゆとりある子育ての実現に向け、親子のふれあい、学級生同士の交流などを軸に仲間と子育てについて学ぶ機会を提供する。	●のびのび親子学級 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ●Babyのびのび親子学級 【日程】10月16日・23日・30日11月6日 全4回。 【場所】我孫子地区公民館 ホール 【対象】令和2年5月15日以降に生まれた赤ちゃん(産後1か月検診受診後)と保護者 【定員】親子20組 【参加】親子19組  ◇◆指標と実績◆◇ 【学級終了時に実施したアンケート結果】(回答者 19人) ≪満足度100%≫	<b>A. 成果・効果があった</b>  学習が進む中で、不安だった気持ちが軽くなったり、しっかりと子どもと向き合えるようになり、親子の絆を深めることができた。  コロナ禍によって、課題を出し合い、話し合える場を設けることが難しくなった。感染予防を徹底し、いかに横のつながりを作っていくか考えていく必要がある。	<b>A. 現状どおり推進</b>  学習を通して、親同士の学びと交流を重視している。仲間と一緒に考え、子育ての楽しさや苦労を分かち合い、互いに支え合える仲間づくりができる。学習終了後も自主的な活動を続けるための継続学級が立ち上がった。今後も、横のつながりを作るきっかけの場になるように運営していく。	昨年度当初、対象を第1子のみとしていたが、新型コロナウイルス感染症の影響で定員を満たさなかったため、第2子以降の子どもも参加可能とした。令和3年度以降についても、同様とする。	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	71	アピコでなんでも学び隊  小・中学生を対象に、地元の学校・企業・専門家等の協力を得て、体験型の講座を実施し、子どもの夢や希望を広げる。また、人との交流によって豊かな人間関係を作るとともに、我孫子の良さを発見し、ふるさと意識を持ち将来、まちづくりに貢献できるようにする。	●アピコでなんでも学び隊 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  ◇◆指標と実績◆◇ 【講座終了時に実施したアンケート結果】 (新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。)	C. 未実施・わからない  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進  専門的な知識を持つ講師の協力により、学ぶ喜び、科学する楽しさ、発見する喜び等、日常経験しがたい体験学習の場となっており、参加者の満足度も高い。地域と子どもをつなぐ役割も果たし、年齢、地域を越えた交流の場を提供していく。	コロナ禍での実施となるため、企業連携、調理、卓球の講座は断念し、大幅に縮小して実施する。実施にあたっては、例年より定員数を減らす、大きい部屋に変更する等、対策を講じる。	生涯学習課
	72	子どものための舞台鑑賞事業  子どもたちに良質な舞台芸術を鑑賞する機会を提供し、心豊かな成長を促すとともに、舞台鑑賞のマナーなどを養うために行う。	●子どものための舞台観賞 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 子どもたちの文化教養として舞台芸術に親しみ、楽しむ鑑賞会を教育委員会の主催で実施する。 【日程】令和2年12月19日(土) 【場所】けやきプラザ ホール 【内容】「あらしのよるに」  ◇◆指標と実績◆◇ 【入場者数】 0人	C. 未実施・わからない  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	実施施設の利用制限を厳守し、新型コロナウイルス感染症対策を万全に行い実施する。	文化・スポーツ課
	73	成人・青少年への図書館サービス  中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、市民生活・生涯学習に役立つ図書館サービスを行う。出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い、資料を提供する。	中学生、高校生、大学生および一般成人を対象として、出版情報や社会状況、市民要求を的確に把握して資料選定を行い貸出した。また、講演会などの事業を実施した。 ・一般書、逐次刊行物、ティーンズ資料の選定及び提供 ・成人・青少年に対するサービスの企画運営 ・一般サービス選定会議の運営(週1回程度) ・館内研修の実施 《講演会》 【テーマ】杉村楚人冠記念館・我孫子市民図書館合同イベント第8回楚人冠講座「楚人冠が書きとめた手賀沼の姿」 【日程・講師】11月29日(日)杉村楚人冠記念館スタッフ 【場所】アピスタ1階 ホール 【参加者】36人  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間貸出利用者数(12歳以下、団体利用は除く)】 167,133人 (前年度比 69.6%)	A. 成果・効果があった  コロナの影響で統計的にはマイナス表示だが、生活に必要なことや趣味に関する要求、知的好奇心等に応え、生涯学習意欲の向上につなげた。  利用者の要求が多岐に渡り、限られた予算の中で購入できる冊数にも限りがあった。新刊図書を購入する際は、より厳しく選定する必要がある。	A. 現状どおり推進	なし	なし

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	74 児童への図書館サービス 子どもの発達や人間形成、人生経験に好ましい影響を及ぼすことの出来る図書を選定し提供する。読書の楽しみと図書館利用の促進を図るために、おはなし会や講座を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染拡大による休館中、臨時窓口で「おうちでよむよむセット」を貸出</li> <li>・学校図書館支援センター機能の確立</li> <li>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等</li> <li>・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、文字・活字文化の日(10月27日)関連事業「よむよむラリー」、館内研修などを実施</li> <li>・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援</li> <li>・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議</li> <li>●おうちでよむよむセット 【場所・貸出セット数・貸出冊数】 ①アビスタ本館 100セット442冊 ②布佐分館 71セット219冊</li> <li>●親子で楽しむおはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 8回 83人 ②布佐分館 1回 4人</li> <li>●おはなし会 【場所・実施回数・合計参加者】 ①アビスタ本館 4回 29人 ②布佐分館 3回 25人</li> <li>●そよかぜおはなしタイム 【場所・実施回数・合計参加者】 ①青山台ステーション 4回 44人</li> <li>●よむよむラリー 【完了数】 図書館 162件 学校 1,993件 合計2,155件</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【文字活字文化の日(関連事業)よむよむラリーのゴール数】 2,155件 【児童書の年間貸出冊数】 133,722冊 (前年度比 65.5%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>専門的知識や経験を有する職員が、より高度で充実したサービスを市民に提供することができた。</p> <p>読書の楽しみを知ってもらうためには、各事業のPRの工夫をして、利用を促進していく必要がある。 若手の職員に研修や経験を積ませて育成していく必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>・新刊を含む児童書の選定・内容検討等 ・児童サービスの企画運営として、おはなし会(《親子で楽しむおはなし会》《おはなし会》《そよかぜおはなしタイム》)、子どもたちのための科学実験講座、「よむよむラリー」、子ども読書の日(4月23日)関連事業「みんなで育てよう！図書館の木」、館内研修などを実施 ・学校図書館支援・整備、調べ学習への支援 ・学校図書館市民図書館連絡会議で、子どもたちの読書環境向上と読書普及のための方策を協議 ・学校図書館支援センター機能の確立・推進</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大のため令和2年度は中止した「子どものための科学実験講座」、および「みんなで育てよう！図書館の木」を実施した。</p>	図書館
	75 子どもの読書活動推進計画の進行管理 子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、家庭、地域、市民図書館、学校図書館、保育園などにおける子どもの読書環境の整備・充実を図るとともに、相互の連携を深め、読書活動を確立していく。	<p>「子どもの読書活動推進計画」に関する事業の実施状況調査について各課に依頼、集計。 学校図書館との連携による授業支援(1学期は小中学校が休校したため、2学期以降実施した) 新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していた児童書に関する講演会を開催しなかった。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【学校図書館との連携による授業支援数】 45件</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>市役所各課で、どのような子どもの読書活動推進に関連した活動を実施しているか認識できた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>子どもが自ら考え課題解決できる自立した人間に成長するため重要であることから、関係課と連携を図りながら、引き続き我孫子市における子どもの読書活動を推進していく。</p>	なし	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実		③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実				
76	男女共同参画講演会の実施  男女共同参画に対する理解を図るため、男女共同参画をテーマにした講演会を開催する。	※担当課の進行管理による				秘書広報課
77	平和事業  我孫子市平和都市宣言のもと、原爆の恐ろしさや平和の尊さを次世代に伝えていくために、被爆地への中学生派遣を行うほか、我孫子市原爆被爆者の会や平和事業推進市民会議とともに、様々な平和事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平和事業推進市民会議委員報償費 【開催回数】3回 【委員数】15名</li> <li>●戦後75年・我孫子市平和都市宣言35年記念平和事業運営委員会 戦後節目の年の平和事業を検討するため、通常の市民会議の定数を拡大し、歴代派遣中学生を委員に加えて、通常の市民会議と同時に開催した。 【開催回数】3回 【委員数】34名</li> <li>●中学生派遣 【派遣先】広島 【派遣期間】8月10日(月)から8月12日(水)まで 【派遣人数】9名(中学校4校から男女各1名、1校から女子1名。ほか1校は参加希望者なし)</li> <li>●平和祈念式典組み合わせ事業 【日程】8月15日(土) 【会場】手賀沼公園 【内容】手賀沼とうろう流し 【参加者】約50人</li> <li>●派遣中学生による報告会(平和の集い) 【日程】12月6日(日) 【会場】けやきプラザ2階ふれあいホール 【内容】広島への派遣中学生による派遣報告、広島派遣OGの高校生による平和を願う歌、 我孫子中学校演劇部による演劇「戦争を知らない子どもたち」の公演 【出演者】派遣中学生9名、広島派遣OG1名、我孫子中学校演劇部16名</li> <li>●リレー講座 【開催時期】令和2年9月～令和3年1月 【内容】歴代の広島・長崎派遣中学生が講師となり、市内の小学校6年生に派遣体験を伝え、 平和について考える機会とする。グループワークで「平和のために自分たちができること」を考え、 葉っぱの形をしたメッセージカードに記入する。 【受講者】小学校5校の6年生(12クラス、約340名)</li> <li>●小冊子「平和への祈り」増版(戦後75年事業) 【時期】令和3年3月31日発行 【内容】平成22年度に戦後65年事業として初版を発行した小冊子の内容を追加・更新して、次年度以降の リレー講座で小学6年生に配布するため、6,000部増版した。</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【平和事業推進市民会議の開催数】3回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●中学生派遣事業と派遣中学生によるリレー講座は、戦争や原爆を経験した方がますます減っていく今後の日本社会において、その悲惨さや平和の尊さを伝えていく新たな世代を育てる役割を果たした。</li> <li>●平和祈念式典組み合わせ事業として「手賀沼とうろう流し」を実施し、若い世代を始め多くの市民が平和について関心を寄せるきっかけとすることができた。</li> </ul> <p>●リレー講座の講師を担う高校生や大学生の参加を増やす必要がある。派遣から年数が経ってしまうと、リレー講座等の活動に参加することに気後れしてしまう人もいると考えられるため、いかに活動に参加しやすくするのか、工夫が必要である。</p> <p>●リレー講座以外にも、戦争体験者の言葉や思いを受け継ぎ、次の世代に伝えていく取組みを検討する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、平和事業推進市民会議等の団体、平和事業に参画する市民と連携しながら、事業を進める。</p>	中学生を市内全6校から男女各1名の12名、広島市へ派遣する。	企画課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	78	健康づくりに関する専門家によるセミナー  市民一人ひとりが自らの健康状態を知り、自主的に健康づくりができるよう、運動、栄養、口腔衛生等の生活習慣を改善するための情報の提供を行う。	●骨粗しょう症セミナー 【演題】ロコモティブシンドロームと骨粗しょう症 【日程】令和2年11月10日(火) 14時～15時 【場所】アビスタ1階ホール 【対象】事前に申し込みをされた我孫子市民(先着50人) 【内容】 順天堂大学COIプロジェクト室博士研究員の沢田秀司先生を講師に、骨粗しょう症とロコモティブシンドロームの関係や、予防方法などの講演を実施。  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】25人	A. 成果・効果があった  アンケート調査の結果、健康意識が「とても高まった・高まった」と回答した割合が87.5%、講演会の内容について、「とてもよかった・よかった」と回答した割合が87.5%であり、約9割の方の健康意識の向上につながった。  高齢者の参加が多く、もう少し若い世代にも興味をもってもらいたい。	C. 廃止・休止  新型コロナウイルス感染症の流行により、令和3年度は中止。	なし	健康づくり支援課
	79	メンタルヘルス啓発講座  市民に心の病気を持つ方に関する正しい理解を深めてもらい、地域で支える土台作りを行う。年1回、講演会を実施する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会を中止。代わりに精神分野の専門職による分かりやすい説明や図が掲載されているメンタルヘルス関連のパンフレットを購入、適宜配布することで令和2年度のメンタルヘルス啓発活動とした。  ◇◆指標と実績◆◇ ・睡眠指針12ヶ条…50部 ・飲酒とこころの健康…100部 ・あなたのためのメンタルヘルス…50部 ・そのトラブルの原因はギャンブル依存症かもしれません…100部 ・「ひきこもり」に困ったら…100部	A. 成果・効果があった  面談等、相談の内容に合わせてパンフレットを活用。市民からも分かりやすいとお声をいただいた。  要望のあった特定の人にしか配布の機会がないことから、配布対象や機会につき工夫する余地がある。	B. 改善・見直しを行う  新型コロナウイルスの感染状況に合わせてメンタルヘルス啓発活動の方法を検討する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から講演会を中止したが、メンタルヘルス啓発活動として、中学2年生向けパンフレットを作成し配布。	障害福祉支援課
	80	失語症家族教室  失語のある人のご家族を対象に失語に関する悩み相談、家族間交流、情報交換、失語の知識や会話技術についての講習・実習を行う。	失語のある人の家族が抱えるコミュニケーション上の負担を軽減するために、失語症家族教室を開催し、悩み事の相談、家族同士の情報交換、失語の基礎知識や会話技術に関する講習と実習を行う。 ●失語症家族教室 【開催場所】障害者福祉センター 【実施回数】5回 【定員】10名 【対象者】失語のある方の家族 【費用】無料  ◇◆指標と実績◆◇ 【失語症家族教室への延べ参加者数】15人	A. 成果・効果があった  失語のある人のご家族の家庭での会話の悩みを軽減するとともに、失語に関する知識や会話技術の習得を図ることができた。  新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインでの開催を検討する。	A. 現状どおり推進  新型コロナウイルス感染症拡大防止の措置を徹底しながら、少人数を対象に現状どおり推進する。	なし	障害福祉センター(障害者福祉)
	81	手話講習会・読話講習会  中途失聴者・難聴者の方とその家族を対象とした手話講習会、読話講習会を開催する。	●手話講習会・読話講習会 中途失聴者・難聴者の方のコミュニケーションの問題を軽減するため、読話によるコミュニケーションの獲得や仲間づくりを支援する目的で、初心者向けに、読話の基礎を学ぶための「読話講習会」を企画したが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。  ◇◆指標と実績◆◇ 【講習会参加実人数】0人	C. 未実施・わからない  未実施。  中途失聴者・難聴者が対象であるため、オンラインでの開催は困難。	A. 現状どおり推進  中途失聴者・難聴者は、先天性の聴覚障害者と異なり手話や読話を習得する場がないため、継続して実施する必要がある。	特になし。	障害福祉センター(障害者福祉)

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	82	<b>家族介護教室</b> 市内5箇所の高齢者なんでも相談室が主催し、主に高齢者を対象に地域の近隣センター等を会場として開催した。 令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で開催回数・参加人数ともに縮小して実施した。 【テーマ、日程、場所、人数】 ≪我孫子北地区≫ ・「免疫力アップ！新型コロナウイルスに負けない健康づくり～お家でできる健康体操～」11月19日 つくし野コミュニティホール 参加者16名 ≪天王台地区≫ ・お天気まんてん教室「認知症と金銭管理」11月17日 近隣センターこもれびホール 参加者13名 ≪湖北・湖北台地区≫ ・ほくほく介護教室「知っておきたい薬の基礎知識」3月18日 湖北台近隣センター多目的ホール 参加者16名 ◇◆指標と実績◆◇ ◇市民・事業者との協働(どの部分をどんな市民・団体と協働したか記入ください。)	A. 成果・効果があった 多くの市民に対し、高齢者に関わる様々なテーマで情報の提供と家族介護への知識の習得に加え、健康に生活するための知識習得を進めることができた、また、なんでも相談室の機能を周知することができた。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
		83	<b>認知症の方の家族のつどい「あびこ」</b> 千葉県福祉ふれあいプラザ 介護実習センターとの共催事業 【日程】原則、偶数月の第2水曜日。年4回開催(千葉県福祉ふれあいプラザ介護実習センターとの共催事業)。 (新型コロナウイルス感染症対策で4月・6月は中止し、8月から感染対策をとり再開) 【場所】けやきプラザ7階研修室 【参加対象者】認知症の方を介護している家族・介護経験者 【実施内容】 ・参加者からの介護における悩み事や介護方法への助言 ・参加者同士の情報交換 ・家族間の交流 【参加者数】延20人 ◇◆指標と実績◆◇ 【アンケートの結果】 ≪参加により不安の軽減できた≫ 90.0% ≪自由記載の一部抜粋≫ ・いろいろ話を聞かせて頂き参考になりました ・話が共通なので参考になりました ・心が開き、軽くなった気がします	A. 成果・効果があった アンケートでは「参加により不安の軽減できた」が9割以上であり、介護家族の交流や負担軽減の場となっている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
		84	<b>介護予防講演会</b> 自分らしく健康な生活を続けることができるよう、介護予防に関する正しい知識の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。年1回健康生活月間を設け、講演会や介護予防事業体験会を通して普及啓発を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【平成31年度講演会参加者へのアンケート結果】 講演会参加者へのアンケートより、『わかりやすい』80%	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止し、令和4年度に実施予定。	高齢者支援課
		85	<b>高齢者虐待防止講演会</b> 高齢者虐待に関する正しい知識の普及を図るとともに、地域の見守りによる虐待防止の体制づくりについて紹介し啓発を図る。 ◇◆指標と実績◆◇ 前回(平成30年度)参加者数:43人 アンケート回収数:36人(うち「わかりやすかった」と回答した人:30人)	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止し、令和4年度に実施予定。	高齢者支援課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	86	<b>遊具うんどう教室</b> 生活習慣病予防のため、運動の習慣化を目指し、うんどう遊具を利用した運動の実践などの健康情報の提供や、地域ぐるみで支え合う健康づくりの支援を行う。 【場所・日程・参加者】 《湖北中央公園》毎月第3火曜日(2・8月除く) 7回、延 125人 《天王台西公園》毎月第3金曜日 8回、延 56人 《布佐南公園》毎月第2水曜日(2・8月除く) 7回、延 45人 ※雨天の場合は中止(新型コロナウイルス感染症対策で4～6月は中止し、7月から感染対策をとり再開) 【対象者】概ね65歳以上の方 ◇◆指標と実績◆◇ 【遊具うんどう教室参加者合計数】延 226人	A. 成果・効果があった 屋外での健康づくりの拠点として、うんどう遊具が設置されている市内3地区の公園において、遊具うんどう教室を22回開催し、延226人が参加している。健康状態を維持・増進し、生活機能の低下により、要介護状態となることを予防するため、介護予防・うんどう習慣等に関する知識の普及啓発を行った結果、介護予防や健康づくりに関する意識が高まり、高齢者自らが活動に参加し、主体的に介護予防に取り組む姿勢がみられている。また、参加者同士が交流することで、閉じこもり予防にも繋がっている。 木製のうんどう遊具を設置してから20年近く経過し、老朽化や破損等による補修・撤去の必要性が多く出てきている。	A. 現状どおり推進	なし	高齢者支援課
		87	<b>環境学習の推進</b> 小学生を対象に、簡単な実験や廃材利用の工作等の学習機会を提供し、身近な環境や生物多様性・廃棄物・資源やエネルギーについて関心や探究心を深める。また、それらと手賀沼との関わりを伝えることで、手賀沼の浄化啓発を図る。 ○夏休みの環境学習 《プランクトンをつかまえて顕微鏡で観察しよう!》 【日程】8月8日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】小学生21人(小学3年生以下保護者同伴) 《紙粘土で花瓶を作ろう!》 【日程】8月6日(木)・8月13日(木) 【場所】アビスタ工芸工作室 【対象】小学生15人(3年生以下保護者同伴) 《船から見る手賀沼のふしぎ(船上学習)》 【日程】8月11日(火) 【場所】手賀沼公園 【対象】小学生30人(3年生以下保護者同伴) 《カヌー体験学習in手賀沼》 【日程】8月16日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生36人 ○ネイチャーイン 春 【日程】4月18日 【場所】谷津ミュージアム 【対象】30人 夏 【日程】8月1日 【場所】谷津ミュージアム 【対象】40人 秋 【日程】11月21日 【場所】谷津ミュージアム 【対象】25人 冬 【日程】1月24日 【場所】手賀沼 【対象】30人 ○その他の環境学習 《手賀沼水辺探検》 【日程】10月4日(日) 【場所】手賀沼親水広場 【対象】小学生30人 《ミニ手賀沼で生きものしらべ》 【日程】10月15日(木) 【場所】ミニ手賀沼 【対象】小学生34人 《バードフィーダー作り》 【日程】12月12日(土) 【場所】水の館 研修室 【対象】15人(小学4年生以下保護者同伴) 《紙飛行機工作と飛行大会》 【日程】2月20日(日) 【場所】アビスタ ホール 【対象】20人(小学生以下保護者同伴) ◇◆指標と実績◆◇ 【夏休み環境学習4事業参加者】 55人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、カヌー体験中止 【ネイチャーイン参加者】 56人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、春冬中止 【その他の環境学習4事業参加者】 68人 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、バードフィーダーづくり、紙飛行機工作中止	A. 成果・効果があった 各事業とも夏休みのイベントとして需要が高く、参加した子供だけでなく、親の反応が良かった。それ以外のイベントも、親子だけでなく大人一人で参加しても好評であった。	A. 現状どおり推進	新たな環境学習として、「手賀沼浮きうき魚ッチ」を開催予定	手賀沼課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点		
基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実	88 消費生活講座	<p>●出前講座他</p> <p>①【日程】10月4日 【場所】けやきプラザ9階 【参加者】40名 市民後見人養成講座</p> <p>②【日程】令和3月1月28日 【場所】湖北地区公民館 【参加者】45名 長寿大学出前講座</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【全ての講座の参加人数】85名</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	消費生活講座については、消費者の会と協働で県の「千葉県消費者団体ネットワーク強化・活性化事業」として12月に実施。	商業観光課
		89 緑の講習会	<p>●緑の講習会</p> <p>◀秋を彩るハンギングバスケット▶ 【日程】9月11日(金) 【場所】湖北地区公民館 工芸工作室【定員】13人 【参加】13人 ◀紅葉を楽しむ苔玉と苔盆栽づくり▶ 【日程】10月10日(土) 【場所】アビスタ工芸工作室【定員】15人 【参加】午前15人 午後15人 ◀庭木の管理 剪定講座(座学)▶ 【日程】10月24日(土) 【場所】アビスタミニホール【定員】30人 【参加】28人 ◀庭師入門 庭木の剪定講座(初級編)▶ 【日程】10月31日(土) 【場所】気象台記念公園【定員】20人 【参加】17人 ◀アート感覚あふれるウインターリース▶ 【日程】11月6日(金) 【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】13人 【参加】13人 ◀多肉植物の寄せ植え▶ 【日程】12月8日(火) 【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】13人 【参加】13人 ◀新年を寿ぐ寄せ植え講座▶ 【日程】12月27日(日) 【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】13人 【参加】13人 ◀早い春を楽しむハンギングバスケット▶ 【日程】1月21日(木) 【場所】湖北地区公民館工芸工作室【定員】12人 【参加】12人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【合計参加人数】139人</p>	A. 成果・効果があった	C. 廃止・休止	令和4年度からの廃止に向け講習会回数を8回から4回に縮小している。	公園緑地課
		90 栄養教諭・栄養職員を中核とした食育推進事業	<p>・学校給食を教材とし、教科や給食時間・献立表・給食だより・HP等を通じて食に関する指導を行った。</p> <p>・8月に全校児童生徒を対象として朝食摂取状況に関するアンケートを実施した。 朝食を毎日食べる割合は、小学生90.0%、中学生86.0%であった。</p> <p>・親子クッキング教室・親子料理教室・授業研究会はコロナウイルス感染拡大防止のため中止。</p> <p>・R3 2月に全校で学級別残菜調査を実施した。平均残菜率は3.7%であった。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 教室・講習会開催回数 指標(予定)3回→実績・未実施</p>	A. 成果・効果があった	B. 改善・見直しを行う	コロナ禍でも実施できる食育活動として、子供向け食育啓発教材を作成。	学校教育課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		前年度からの変更点
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
91	生涯学習出前講座の運営  市内に在住・在勤・在学している原則10人以上の参加者がいる団体やグループが主催する集会等に、講師として市の職員・市民講師等が出向き、専門知識を活かした講座を行う。出前講座メニューの更新・見直し作業を行い拡張、充実を図った。9月にPR事業として展示を行った。	<p>●出前講座</p> <p>【講座数】</p> <p>市役所メニュー 74 講座</p> <p>市民講師メニュー 136 講座</p> <p>キャンパスメニュー 30 講座</p> <p>【年間利用状況】</p> <p>件数: 152 件 (うち市役所メニュー:63件、市民講師メニュー:80件、キャンパスメニュー:9件)</p> <p>人数: 3,199 人 (うち市役所メニュー:1529人、市民講師メニュー:1529人、キャンパスメニュー:141人)</p> <p>《出前講座PR展示》</p> <p>【日程】9月13日～9月27日</p> <p>【場所】アビスタ1階エレベーターホール前</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【利用者満足度・件数】(回答者 134人)</p> <p>《とても満足》 76% ・ 102 件</p> <p>《満足》 19.5% ・ 26 件</p> <p>《ふつう》 3% ・ 4 件</p> <p>《やや不満》 1.5% ・ 2 件</p> <p>《不満》 0% ・ 0 件</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	
			<p>学習団体の問い合わせに対し、出前講座の制度を紹介することで、目的にあった生涯学習活動を支援することができた。パネル展示や、メニュー表を各所に設置したことが制度の周知につながった。利用者アンケートでは高い満足度を得た。</p> <p>申し込み講座にかたよりのある。</p>	<p>生涯学習の目的は多岐にわたるため、現状維持だけではなく、引き続きメニューの拡充を行う。出前講座の周知をするため、引き続きパネル展示や、メニュー表の効果的な設置を行い、利用件数を増やす。</p>		
92	生涯学習推進事業  我孫子市の生涯学習を推進するにあたり、講演会、学習の場の提供等を通して、学びが人づくりとなり、人と人の交流を生み、まちづくりにつながるよう生涯学習推進事業を開催する。	<p>●風呂敷をエコバックに!</p> <p>【日程】10月2日(金)</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【参加者】17人</p> <p>【講師】小菅嘉子さん</p> <p>●あなたに合った片付けの極意</p> <p>【日程】10月8日(木)</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【参加者】27人</p> <p>【講師】松林奈萌子さん</p> <p>●こころと体の大事な話</p> <p>【日程】10月22日(木)</p> <p>【場所】アビスタホール</p> <p>【参加者】26人</p> <p>【講師】小路和子さん</p> <p>●親子deミニ門松づくり～手作りで迎えるお正月～</p> <p>【日程】12月25日(水)</p> <p>【場所】アビスタ第2学習室</p> <p>【参加者】親子10組20人</p> <p>【講師】ちばテク我孫子校</p> <p>●段ボールで作る恐竜チェア</p> <p>【日程】12月26日(木)</p> <p>【場所】アビスタ工芸工作室</p> <p>【参加者】親子16組12人</p> <p>【講師】ちばテク我孫子校</p> <p>●災害に備えてロケットストーブを作ろう</p> <p>【日程】3月27日(土)</p> <p>【場所】アビスタ公園側エントランス</p> <p>【参加者】11組</p> <p>【講師】中央学院大学 白水智教授</p> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <p>【総参加者数】124人</p>	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり

③多様化・高度化するニーズに対応した学習内容の充実

生涯学習課

生涯学習課

基本目標 2 生涯にわたってさまざまな学びのできるまちづくり	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方		前年度からの変更点
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
93	人権教育 地域で活動する社会教育関係者及び市民を対象に、社会に存在する様々な人権問題(外国人・男女・子ども・高齢者・障がい者など)について学習する機会を提供し、社会教育活動及び学習活動にいかしてもらおう。	<p>●社会人権教育指導者養成講座 【日程】第1回:9月10日(木)、第2回:10月14日(水)、第3回:11月11日(水) 【場所】千葉県総合教育センター 【対象者】市町村教育委員会の社会人権教育担当者 【内容】講演及び演習 講演内容:インターネット人権侵害、性の多様性、いじめ、被差別部落、視聴覚障害、男女共同参画、児童虐待、DV及び外国人母子家庭</p> <p>●社会人権教育地区別研修会 【日程】9月9日(水) 【場所】さわやかちば県民プラザ 【対象者】市内小中学校教職員、保護者、教育委員、社会教育委員、人権擁護委員及び関係各課職員 【内容】①講演「情報機器の使い方、変わっていくものと、変わらないもの」 講師:NPO法人 企業教育研究会 市野 敬介 氏 ②千葉県の人権教育</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【人権教育地区別研修会参加者数】8名</p>	A. 成果・効果があった 参加者からは、とても参考になったという声があった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課	
			C. 未実施・わからない	A. 現状どおり推進	なし		
			<p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】0人</p>	<p>ニュースポーツを中心に行い、市民の誰もが気軽に参加できるイベントとなっており、また地域のスポーツ団体と協働で行うことで、地域のコミュニティの形成にも寄与できると考えるが、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止とした。</p>			
95	スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～ 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備するため、小学校を会場に、地域の団体と連携を図りながら、大人から子供までスポーツを行い、地域のコミュニケーションを図る。	<p>◀地域スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～▶ 【日程】令和2年2月20日(土)(新型コロナウイルス感染症の影響により中止) 【場所】我孫子西地区、我孫子中央地区、我孫子東地区の3地区 【対象者】児童から高齢者まで広く</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【参加人数】0人</p>		A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課	
96	鳥の博物館企画展の実施 鳥の生態や体の仕組み、保全などについて、理解を深めてもらうため、様々な視点から鳥をわかりやすく解説し、収蔵標本や資料を展示する。	<p>●企画展示 【内容・日程】 第86回企画展「バンディング展 ～足環でわかる鳥の渡り～」R2. 2. 1～8. 30(期間延長) 鳥の博物館開館30周年特別展示「日本の鳥」R2. 10. 10～R3. 1. 31 第87回企画展「第16回友の会展 ー日本の四季を彩る鳥たちー」R3. 2. 13～3. 14</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【入館者数(年間)】 指標: 37,000人 実績: 16,132人</p>	A. 成果・効果があった 各テーマに沿った企画を分かりやすく解説し、来館者が興味を持って鳥についての知識を深めることができた	A. 現状どおり推進	オリンピック・パラリンピック開催と合わせて「鳥のチャンピオン」を実施	鳥の博物館	

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり			基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実			①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	97	<b>市民農園維持管理事業</b> 消費者が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園などの農業体験の場の提供を行う。	・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の新規募集(随時) ・農園利用料の徴収(6月) ・農園利用者向け収穫体験イベントの実施(6月、10月) ●年間を通じた市民農園の維持管理 <b>【内容】</b> ・農園管理(区画の耕運、除草作業、農事相談等)及び施設管理(浄化槽の保守点検・トイレ清掃) ・農園利用者の募集(随時募集、ホームページに募集記事を掲載) ・農園利用料の徴収 <b>【市民農園の詳細】</b> 《日秀新田市民農園》総区画122区画のうち利用区画数103区画 ●収穫体験イベント ≪じゃがいも収穫体験イベント≫ <b>【日程】</b> 令和2年6月27日(土) <b>【場所】</b> 日秀新田市民農園内 <b>【参加者】</b> 39人 ≪さつまいも収穫体験イベント≫ <b>【日程】</b> 令和2年10月24日(土) <b>【場所】</b> 日秀新田市民農園内 <b>【参加者】</b> 47人  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【市民農園利用区画数】</b> 103区画(一般区画全122区画中)	<b>A. 成果・効果があった</b> 令和3年3月末時点での日秀新田市民農園利用区画数は前年同月値に比べて多少減少したが、新型コロナ対策としてイベント内容を変更(配布のみ)としたため、参加人数は減少したが、一定数の申し込みはあった。	A. 現状どおり推進	6月のジャガイモ収穫体験イベントについて令和2年度は配布のみとしたが、今年は感染状況を考え参加人数を制限する形で収穫体験イベントを実施した。また、9月の落花生収穫体験イベントについても同様に実施した。	農政課
	98	<b>親水広場の運営(水環境保全啓発展示及びプラネタリウム)</b> 水槽やパネルなどで手賀沼の生き物や市の歴史・文化について情報発信する。環境学習の場としても活用するほか、プラネタリウムやじゃぶじゃぶ池など、多くの来場者が訪れる水環境保全啓発施設として運営する。	水の館内の各展示や講座により水環境保全啓発、環境学習、歴史・文化の学習の場を提供する。また、土日祝日にプラネタリウムの定時上映も行うほか、テーマ番組に合わせた展示、CDまたは生演奏と合わせた上映を2回と星空たんけん観望会を4回実施した。(※新型コロナウイルスの影響で星空コンサート1回、観望会2回が中止となった。)  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【プラネタリウム投影事業参加者合計】</b> 584回上映、6,724人 <b>【星空たんけん観望会】</b> 2回実施 40人	<b>A. 成果・効果があった</b> プラネタリウム定時上映については、土日祝日に1日6回ずつ投影を行うほか、平日は10人以上で団体貸切を行った。また、夏休みと春休み期間は、水曜日を除く平日も1日2回投影を行ったことで、親水広場に多くの入場者に来ていただき、水環境保全啓発施設としての利用も促進された。  今後も水の館の展示内容・環境学習等さらに充実させ、水環境保全に興味・関心を持ってもらう場として活用を図る必要がある。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症の状況により、施設の利用を一部制限している。	手賀沼課
	100	<b>新たな文化交流拠点施設整備の検討</b>  新たな文化交流拠点施設の整備に向けて、令和元年5月にまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想案」をもとに機能規模の集約をするなど、「建設構想」策定に向けて、議会や市民の意見を聴きながらさらに検討を進めていく。	令和元年5月にまとめた「我孫子市文化交流拠点施設建設構想(案)」をもとに、施設のホール等の規模、機能等について、これまで収集した意見も含めて関係団体等と意見聴取を行うとしていたが、年間を通してコロナ禍によりできなかった。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【建設構想】策定の進捗率】</b> 10%	<b>C. 未実施・わからない</b> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため意見聴取を中止。  施設の規模、機能等を一つに集約すること。	A. 現状どおり推進	なし	企画課、生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
				成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	101	<b>地域交流教室の提供</b>  学校の一部を市民の学習拠点として有効活用し、学習サークルや自治会などに学習の場を提供する。	地域における大人と子どもの交流や学習等の様々な活動を支援する場として、引き続き地域交流教室の利用をPRをしていく。 <b>【使用料】</b> 4時間ごとに100円 <b>【使用料免除対象】</b> ・学習活動(高校生以下の方が1人以上参加するものに限る)を行う場合 ・その他教育委員会が必要があると認める場合 <b>【使用形態】</b> 月～日曜日の9時～21時(高野山及び布佐小学校は、月～土曜日の18～21時及び日曜日の9～21時) <b>【場所】</b> 第一小学校、布佐小学校、湖北台西小学校、高野山小学校:1教室、 第一小学校:0件(稼働率0%) 13団体 布佐小学校:0件(稼働率0%) 2団体 湖北台西小学校:0件(稼働率0%) 9団体 高野山小学校:0件(稼働率0%) 6団体 ※湖北台東小学校(2教室)は閉鎖。ヤング手賀沼使用の為。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【提供コマ数】</b> 0コマ <b>【予約コマ数】</b> 0コマ <b>【有料使用コマ数】</b> 0コマ	<b>C. 未実施・わからない</b>  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地域交流教室の使用停止があり、団体等も活動自粛などで使用がなかった。	<b>A. 現状どおり推進</b>	なし	生涯学習課
	102	<b>公民館施設管理運営</b>  生涯学習センターの建物敷地の適正な維持管理を行い、市民の学習環境を整備をする。	生涯学習センター総合管理運営委託業務により、施設管理、施設運営、清掃業務、警備業務を東進ビルシステムに委託し、円滑な管理運営を進めた。 また、施設の修繕や定期点検を実施した。 ・修繕 ドレン管修繕、全熱交換器修繕 等 ・定期点検 建築設備定期検査、建築物定期検査 ・樹木剪定、草刈業務  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【保守管理執行率】</b> 100% 今年度はドレン管修繕、全熱交換機修繕を実施した。 また、令和3年度に実施する生涯学習センター空調設備更新工事の設計業務委託を実施した。	<b>A. 成果・効果があった</b>  全熱交換器の修繕によりコロナ禍での換気設備の維持管理を行うことが出来た	<b>A. 現状どおり推進</b>  施設修繕計画に沿って、施設修繕箇所に対する適切な対応を行いたい。	前年度設計した空調設備改修工事を実施する。	生涯学習課
	104	<b>フリースポット (Wi-Fi) の提供</b>  無線LAN (Wi-Fi) の利用状況や要望の把握を行いながら、公民館等の公共施設に無線LAN (Wi-Fi) を利用できる設備を整備しパソコン等のパケット通信が快適に利用できる環境を整える。	生涯学習センター「アピスタ」の2階オープンスペースにてインターネットを接続する方を対象に、インターネット環境の提供をした。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【無線LAN設置箇所】</b> 1箇所	<b>A. 成果・効果があった</b>  機器が古く、1階の一部と2階オープンスペースまでしか電波が届かず、学習室内で使用ができない。	<b>A. 現状どおり推進</b>	公衆無線LANフリースポット機器の交換を行う。	生涯学習課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり ①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	105	施設予約システムの運用 公民館をはじめとした学習施設の空き状況や施設利用の予約等について、施設の窓口の他にインターネットを利用したシステムを運用し市民の利便性の向上を図る。	令和元年度に引き続き、ちば施設予約システムを利用した。 ◇◆指標と実績◆◇ 【我孫子地区公民館】 利用件数 3,980 利用者数 41,631人 【湖北地区公民館】 利用件数 1,828 利用者数 25,344人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課、市民活動支・スポーツ課
	106	市民体育館管理運営 指定管理制度を活かし、良質な自主事業の提供などサービスを一層充実させるとともに、民間のノウハウを活かし利用しやすい施設づくりを進める。	アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理の委託 平成30年度から再度、5年間アクティオ・フクシ共同事業体に指定管理者が決定 ◇◆指標と実績◆◇ 【市民体育館利用者数】 84,248人	A. 成果・効果があった 指定管理者制度を利用することで、様々なプログラムを提供することができ、市民の健康保持・増進に大きく寄与している。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	107	体育施設管理運営事業、維持補修 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、利根川ゆうゆう公園や湖北台中央公園、手賀沼公園の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。また、五本松運動広場をより市民のスポーツ利用が図れるよう改修整備を行う。	必要に応じて適宜対応していく。 ●維持管理 ・布佐下多目的広場・五本松運動整備業務 ●管理運営 ・つくし野多目的広場管理運営・浅間前多目的広場草刈 ●施設修繕 ふれあいキャンプ場テーブルベンチ修繕、ふれあいキャンプ場浄化槽設備修繕、上沼田野球場飲料水浄水装置修繕 他 ◇◆指標と実績◆◇ 【体育施設利用者数】 63,227人	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	108	武道施設の建設整備の検討 全国高等学校総合体育大会、国民体育大会で、なぎなた競技を我孫子市で開催したことや中学校の武道の必修化に伴い、日本古来からの伝統文化でもある武道のより一層の振興を図るため、武道施設の建設整備のを検討する。	引き続き地権者交渉を行う。 ◇◆指標と実績◆◇ 【整備進捗率】 0%	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため地権者交渉を中止。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	109	<b>市民体育館維持補修、改修事業</b> 「我孫子市公共施設等総合管理計画」に基づき施設の適正な維持管理や長寿命化を図るため、市民体育館の設備の適正な日常点検やメンテナンス、早期修理、計画的な修繕を実施する。	計画的に維持補修・改修を実施 <b>●維持補修</b> ・我孫子市民体育館サブアリーナ有圧換気扇修繕 ・我孫子市民体育館絶縁修繕 ・我孫子市民体育館換気設備・空調設備修繕 ・我孫子市民体育館案内板修繕 ・野球場サイドネット柱鉄部塗装修繕 ・市民体育館自動水栓改修工事 ・原材料の購入 <b>●改修</b> ・我孫子市民体育館大規模改修工事 ・我孫子市民体育館大規模改修工事管理業務委託  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【修繕・改修工事の進捗率】 100%</b>	A. 成果・効果があった 市民が安心・安全に利用することができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	110	<b>学校体育施設開放事業</b> 市民が身近な場所で気軽にスポーツを楽しめることができる環境を整備するため、学校施設である体育館、校庭、武道場を一般開放する。また、市民プールの代替施設として小学校の夏季休業期間中プールを開放する。	<b>●プール開放事業</b> 一般開放11校23日間、団体開放2校5日間 (新型コロナウイルス感染症の影響により中止) <b>●学校開放事業</b> 年間を通して開放 (新型コロナウイルス感染症の影響により一部利用休止)  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【プール開放利用者数】 0人(中止)</b> <b>【学校体育館・校庭・武道場利用者数】 70, 693人</b>	A. 成果・効果があった 地域のスポーツ振興に寄与することができた。  プール開放については、利用料金を徴収していないため、経費削減を図る必要がある。	A. 現状どおり推進	プール開放事業：団体開放を廃止し、一般開放8校14日間のみ (新型コロナウイルス感染症の影響により中止)	文化・スポーツ課
	111	<b>ふれあいキャンプ場管理運営</b> 市民が気軽に安心・安全にキャンプ場を利用できるよう、利用受付事務や野外用品の貸出等の維持管理運営を行う。	市民に安心・安全にキャンプを楽しめる場を提供する。  ◇◆指標と実績◆◇ <b>●ふれあいキャンプ場利用</b> <b>【キャンプ場利用数】 777件</b>	A. 成果・効果があった 我孫子の魅力発信となっている。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
	112	<b>文化財等の保存と活用</b> 市内に残る文化財を保存・活用することにより、我孫子の歴史の意義を広く市民に理解してもらえるようにする。具体的には、価値ある文化財を保存、整備し、それらを一般公開し、誘導板や説明板等の整備を行う。また、歴史資料や考古遺物などの整理、研究の成果を分かりやすく伝える文化財展などの企画・イベントや施設運営等を実施する。	新型コロナウイルス感染症予防のため、例年行われている文化財展、竹灯籠のタベ、ひなのまつりは中止となった。代わりに「旧村川別荘ひなのまつり出張展 「華」で遊ぶ」をアビスタ2階の展示ケースで行った。(11月9日(月)～11月15日(日))  ◇◆指標と実績◆◇ <b>旧村川別荘来場者数3, 108人</b>	A. 成果・効果があった 文化財を保存するだけでなく、整備し活用することで、多くの人々に文化財が持つ魅力を知ってもらい良い機会となった。	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルス感染症に十分注意しつつ、できる範囲で推進していく。	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課			
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点		
基本目標 3 多様な学びの場のあるまちづくり	①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実	113	<b>杉村楚人冠邸の保存と活用</b> 杉村楚人冠記念館の建物と資料を保存し、杉村楚人冠について広く市民に知ってもらえるよう活用を図る。具体的には、資料の調査・研究から判明したことをまとめ展示を行い、その展示をより理解してもらうために、施設内のガイド、報告書の刊行やワークショップ、講演会などを実施する。	<b>【展示】</b> ○春期企画展(前年度から継続)5月10日(日)まで 「「禪」が結んだ人々 ―釈宗演と楚人冠の周辺―」 →新型コロナウイルス感染症対策のため、3月24日からの臨時休館により中止 ●テーマ展示 5月16日(土)～7月12日(日)→6月9日(火)～9月27日(日) 我孫子市制50周年・我孫子を知る一年「寄贈資料展 楚人冠と湖畔吟社」 ○夏期企画展 7月14日(火)～10月11日(日) 大逆事件110年記念「弱者へのまなざし ―幸徳秋水・堺利彦・杉村楚人冠の交流―」 →開催中止 ○冬期企画展 10月17日(土)～1月17日(日) →10月3日(土)～令和3年1月11日(月・祝) 我孫子市制50周年・我孫子を知る一年「随筆に書かれた我孫子のむかし」 ●テーマ展示 1月19日(火)～3月7日(日) 「てがみ展 楚人冠の交友関係」 ○春期企画展 3月9日(火)～(翌年度へ継続 5月9日(日)まで) 「観光案内と地図で見る楚人冠の旅 ―欧米編」 <b>【イベント】</b> ○講演会 12月6日(日) 我孫子市制50周年・我孫子を知る一年「行商の時代」 山本志乃氏(神奈川大学国際日本学部教授) ○第8回楚人冠講座 4月19日(日) 「楚人冠の「禪」、漱石の「禪」」 →※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○第9回楚人冠講座 12月13日(日) 我孫子市制50周年・我孫子を知る一年「楚人冠が書きとめた手賀沼の姿」 →4月19日中止に伴い、第8回に変更 ○清接庵茶会 春分の日前後の一日 席主 我孫子高校茶道部→一般公開は中止となったが、記録保存を行った ○ワークショップ 「こども茶道教室」8月1日もしくは2日で日程調整中→中止 指導 川村学園女子大学茶道部 ○SPレコード演奏 ゴールデンウィーク中一日、開館記念(11月3日)  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【来訪者(年間)】 1,962人</b>	A. 成果・効果があった 市制施行50周年事業と連携するかたちで、アビスタで企画展示を行ったり、講演会を50周年事業の一つと位置づけ運営した。 施設の臨時閉館中にYouTube番組を作成し、杉村楚人冠記念館を広める活動を行った。  質の高い展示、講演会を実施しつつ、来訪者の増加と認知の向上を目指し、学生等との連携が必要になっている。	A. 現状どおり推進 杉村楚人冠資料と楚人冠邸の魅力をアップさせるため、白樺文学館やほかの文学館と連携した展示やイベントを実施する。	なし	文化・スポーツ課
		114	<b>旧井上家住宅の保存と活用</b> 旧井上家住宅の建物・敷地の維持管理を行いながら、建物を順次保存整備工事して後世に伝えていく。工事中も建物周囲の公開活用を図り、周知に努めていく。	なし  ◇◆指標と実績◆◇ <b>母屋保存整備工事実施設計 100%</b>	A. 成果・効果があった 母屋保存整備工事実施設計を適切に実施している。  保存整備箇所を維持しつつ、適切に活用していく必要がある。	A. 現状どおり推進 邸内全域の保存整備工事完了を目指しつつ、部分公開事業などを積極的に推進する。	なし	文化・スポーツ課
		115	<b>白樺文学館の運営</b> 大正期に我孫子に居を構えた白樺派の足跡を広く知ってもらうため、所蔵資料や作品などを活用し、企画展やイベントを実施する。	●常設テーマ展 1月29日(水)～4月12日(日) 「民藝運動と我孫子」 →新型コロナウイルス感染症対策のため、3月24日からの臨時休館により中止 ○企画展 4月16日(木)～7月12日(日)→6月9日(月)～11月8日(日) 「『白樺』創刊110年記念 市制50周年記念 志賀直哉展―山田家コレクションを中心に―」 ※途中8月3日～9月30日までエレベーター工事による休館 ○企画展 9月中旬(13日(日)～2021(令和3)年1月24日(日) →11月11日(水)～令和3年2月28日(日) 「『白樺』創刊110年記念 市制50周年記念 我孫子の風景展」 ●常設テーマ 2021(令和3)年1月27日(水)～ 「白樺派と我孫子2021」  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【入館者(年間)】2,837人</b>	A. 成果・効果があった 市制施行50周年事業と連携するかたちで、アビスタで企画展示を行ったり、講演会を50周年事業の一つと位置づけ運営した。 施設の臨時閉館中にYouTube番組を作成し、白樺文学館を広める活動を行った。  「白樺文学館リニューアル計画」を進めるためにも、寄付など財源の確保につとめる。	A. 現状どおり推進 白樺派の魅力を多くの方に知っていただけるようなコラボイベントを推進していく。	志賀直哉邸跡書斎のクラウドファンディングを行うことで、白樺文学館のPRも行っていく	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	117 移動図書館業務	<p>移動図書館そよかぜ号が(祝日も含め)水・木・金に市内15ステーションを巡回して、貸出・返却等のサービスを提供した。 令和2年10月からあびこショッピングプラザ駐車場に「我孫子北ステーション」を新設し、月2回水曜日の午前中に巡回している。 学校巡回として、我孫子第三小学校と並木小学校への巡回を行っている。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【移動図書館巡回ステーション年間貸出冊数】 19,965冊 (前年比 92.4%)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>天候により巡回中止となる場合もあったが、定期的に移動図書館を運行し、アピスタ本館・湖北台分館・布佐分館に来館しにくい高齢者や乳幼児連れの親子に対して学習の場を提供することができた。我孫子第三小学校、並木小学校の児童に移動図書館利用の場を提供することができた。</p> <p>利用の少ないステーションに対して、引き続き利用が増えるようPR等工夫する必要がある。また、状況に応じてステーションの廃止または移動の検討も必要である。現移動図書館車は平成13年7月に車両を更新してから20年が経過しており不具合も増えてきた。安全運行のためにも更新が必要である。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>移動図書館車の購入については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して、学校巡回用に購入できた。今後も、学校、高齢者施設などへの移動図書館車の巡回など、移動図書館の可能性について検討していく必要がある。</p>	<p>新車両を使用して、10月から市内小学校と中学校1校に巡回予定。年度内は旧車両による通常巡回と2台運行する。</p>	図書館
	118 図書館の整備	<p>湖北地区図書館の整備については、湖北台地区公共施設(第1期整備)の整備方針の進捗を確認していく。 図書館長寿命化計画にそって施設修繕をおこなった。 また、新型コロナウイルス拡大防止のための地方創生臨時交付金による修繕も実施した。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【館内会議における進行管理報告と見直しの協議】 2回(ただし館内会議での進行管理報告として)</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>新型コロナウイルス対応で運営の今後のあり方の検討は遅滞しているが、課内で調整をし令和3年度にまとめていく予定である。長寿命化計画や地方創生臨時交付金による施設修繕を実施できた。</p> <p>厳しい財政状況の中で、図書館サービスの質を保ちながら運営方法を検討していく難しさがある。新型コロナウイルス拡大防止の観点からも、いままで以上に利用者が安全で安心して利用できるように施設の維持管理を計画的におこなう必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>引き続き、図書館の運営形態を検討していく。長寿命化計画にそって予算措置を図っていく。</p>	なし	図書館
	119 図書館会議室及び展示スペースの提供	<p>布佐分館会議室を貸し出した。 湖北台分館・布佐分館の館内壁面を作品の発表の場(ミニギャラリー)として市民に提供した。 《布佐分館》 第一会議室(申請に応じて随時)、第二会議室(申請に応じて随時)、ミニギャラリー(年9回) 令和2年12月 第一会議室スポットライト設置工事実施 《湖北台分館》 ミニギャラリー(年8回)</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【布佐分館会議室の年間利用回数】 26回(前昨年度比 23.6%) 【壁面ギャラリー利用率】 《布佐分館》 100% 《湖北台分館》 100%</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策による休館のため、利用回数は減じたが、再開後は例年並みの利用があった。市民の自主的な学習機会と発表の場を提供することができた。</p> <p>会議室については、市役所内へ利用の呼びかけを行っているが、未利用の日もあり、一層の利用促進に努める必要がある。また、ミニギャラリーも展示者がマンネリ化しているため、関連団体へ呼びかけなど新規開拓する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>布佐地区は公民館未設置であることから、学習活動の場・地域活動の場として会議室は重要である。今後も引き続き推進していく。また、第一会議室のギャラリー機能付加による利用のPR等を行っていく。</p>	<p>令和3年7月から第一会議室を土足可能とし、利便性を高めた。</p>	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
①多様化する学習ニーズに対応した施設・機能の充実 3 多様な学びの場のあるまちづくり	120 鳥の博物館管理運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設設備修繕 2階・3階非常口ドアノブ修繕(政策費) 170,500円 ポンプ室コンセント修繕 19,250円 男子トイレ漏水修繕 5,800円 非常用照明交換修繕 261,800円 外壁・鳥の水飲み場修繕 236,500円</li> <li>●鳥の博物館自動水栓改修工事 293,238円 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)</li> <li>●鳥の博物館女子トイレ改修工事 715,000円 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●施設設備修繕 2階・3階非常口ドアノブ修繕(政策費) 170,500円 ポンプ室コンセント修繕 19,250円 男子トイレ漏水修繕 5,800円 非常用照明交換修繕 261,800円 外壁・鳥の水飲み場修繕 236,500円</li> <li>●鳥の博物館自動水栓改修工事 293,238円 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)</li> <li>●鳥の博物館女子トイレ改修工事 715,000円 (新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)</li> </ul>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>不具合箇所を修繕することで、来館者の安全確保や館内環境の改善が図れた。</p> <p>施設の老朽化により、財源を確保する必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>不具合が見つかった場合は、修繕箇所の優先順位をつけ、速やかに対処するなど、快適な館内環境の維持に努めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●施設設備修繕 男子トイレウォシュレット修繕 2階学芸員室ウエザーカバー交換修繕 3階ベランダ出入り口扉修繕(政策費)</li> </ul>	鳥の博物館
	122 鳥の博物館展示リニューアル	<p>鳥の博物館学芸員で常設展示のリニューアルに必要な情報(展示構成、展示デザイン、経費等)を収集し・整理している。また、全職員で、懸案事項を洗い出し、今、直せるもの、工夫できることの話合いを行いながら、すぐに実行できるものについては対処した。</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【資料数(年間)】 指標: 60点 実績: 58点</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>展示リニューアルするにあたって、有効な資料を収集できた。</p> <p>開館以来、常設展示リニューアルを実施できていない。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	<p>常設展示リニューアルの実現に向けて、現在の展示方法等事業者と打ち合わせを始めた。「鳥の博物館基金条例」を制定し、常設展示リニューアルを含む鳥博事業について財源確保に努めていく。</p>	鳥の博物館
	186 文化財保存活用地域計画の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●我孫子市文化財保存活用地域計画協議会の開催 2回(6月29日、3月4日)</li> <li>●報告書・概要冊子印刷製本</li> </ul> <p>◇◆指標と実績◆◇ 文化財保存活用地域計画協議会の開催回数 想定値3回 実績値2回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>文化財保存活用地域計画の令和2年度の文化庁認定に向けて、積極的な協議を実施することができ、令和2年度に文化庁から認定を受けることができた。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>計画に沿って文化財の保存活用を進めていくとともに、協議会内で進捗を確認する。</p>	なし	文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
②近隣自治体との施設の相互利用や民間施設の活用						
123	手賀沼ふれあいウォーク 手賀沼周囲のウォーキングを実施し、健康における運動習慣の重要性を啓発する。	●手賀沼ふれあいウォーク 【日程】※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【主催】手賀沼ふれあいウォーク実行委員会(我孫子市、NPO法人千葉県ウォーキング協会、北総歩こう会、東葛ウォーキングクラブ、千葉県ノルディック・ウォーク連盟) ※平成30年度まで柏市と共催で実施してきたが、柏市が事業廃止したことに伴い、令和元年度より我孫子市単独で、実行委員会形式をとって実施している。  ◇◆指標と実績◆◇ 指標:手賀沼ふれあいウォーク参加者数 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	C. 未実施・わからない ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	C. 廃止・休止 新型コロナウイルス感染症の流行により、令和3年度は中止となる。	なし	健康づくり支援課
124	近隣市町と体育施設の相互利用・民間体育施設の一般開放の推進 近隣市町との体育施設の相互利用や、民間等の体育施設の一般開放を進めることにより、市に不足している施設を補充し市民が気軽にスポーツに触れ楽しめる環境を整備する。	茨城県取手市と体育施設の相互利用を実施  ◇◆指標と実績◆◇ 一般開放している近隣市町・民間企業等の体育施設の数	A. 成果・効果があった 我孫子市内に整備されていない施設を市民が利用することでスポーツの親しむことができた。	A. 現状どおり推進	なし	文化・スポーツ課
125	手賀沼エコマラソン支援事業 「よみがえる手賀沼をさわやかに走ろう！」をキャッチフレーズに、「手賀沼の浄化」と「地域の活性化」をランナーとともにアピールするため、柏市と共同でマラソン大会を開催する。	●第25回手賀沼エコマラソン 【日程】10月31日(日) 【対象】 ・18歳以上の健康で、ハーフマラソンを2時間30分で完走できる者 ≪柏・我孫子市民枠≫3,000人 ≪一般枠≫7,000人 【距離】21.0975km(柏ふるさと公園スタート・ゴールのハーフマラソン) 日本陸連公認大会 【募集人数】10,000人 【目的】 (1)手賀沼浄化啓発活動の推進 (2)自然と調和し共存する手賀沼をアピール (3)健康増進の昂揚 (4)社会の活性化とスポーツ文化の振興 【共催】柏市 新型コロナウイルス感染症の影響により中止  ◇◆指標と実績◆◇ 【手賀沼エコマラソン参加者数】0人(中止)	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	令和2年に引き続き大会が中止になったため、啓発活動として、ホームページの充実や写真展等を開催する。	文化・スポーツ課
126	市外図書館・大学・関係機関との連携協力 千葉県立図書館・県内市町村立図書館・国会図書館・大学図書館など関係機関と連携して、図書資料の相互貸借や図書館の相互利用を行い、市民の幅広いニーズに対応する。	・千葉県立図書館巡回車(週1回)による県内図書館相互貸借業務 ・市内大学との連携による利用紹介発行・図書相互貸借業務 ・国会図書館・大学図書館・県外公共図書館との図書相互貸借業務 ・千葉県公共図書館協会事務、第3ブロック幹事館事務 ●年間相互貸借冊数 6,326冊  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間相互貸借冊数】6,326冊	A. 成果・効果があった 専門的なことや、多種多様な市民の要望に対し、広くその要望に応えることができた。  全国の同規模の図書館の中でも図書館間借受冊数が上位に位置しているように、相互協力による借受は活発であるが、必要な資料は揃えることができるよう資料費の確保に努める必要がある。	A. 現状どおり推進 資料費が限られている中、市外図書館、大学図書館、関係機関との連携・協力は不可欠であり、今後も継続して推進していく。	これまで国会図書館や県外図書館から借受けた資料の郵送料は図書館負担であったが、令和3年4月より受益者負担とした。	図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり					基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	
①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充					①学びを通じて身につけた成果を活かす機会の拡充	
127	(No.91再掲) 生涯学習出前講座の運営					生涯学習課
128	生涯学習出前講座市民講師メニューへの登録  自ら培った経験や技術、知識を地域に活かし、市民の生涯学習活動を積極的に応援していただける方を「市民講師」として登録し、まちの生涯学習のリーダーとして、市民の生涯学習のきっかけづくりを行ってもらうとともに、学びの輪を地域に広げてもらう。	生涯学習出前講座、市民講師メニューの講師として登録し、講座を提供する。 【講座登録数】(令和3年3月31日時点) 市民講師メニュー 135 講座 【講師登録数】(令和3年3月31日時点) 講師: 44 人 団体: 10 団体  ◇◆指標と実績◇◆ 【新規登録数】人材情報: 1人 団体情報: 2団体	A. 成果・効果があった  市民講師講座数が増え、メニューが充実した。講師の方には積極的に市民の学習活動の支援に取り組んでもらった。	A. 現状どおり推進  出前講座のPRの中に、市民講師へ登録の内容も盛り込み、登録数を増やす。	なし	生涯学習課
129	(No.23再掲) 生涯学習人材バンクの整備					生涯学習課
130	アビスタ利用者保育スタッフ事業  生涯学習施設を利用する子育て中の利用者のために、保育スタッフを活用して一時保育の環境を充実させ、学びたい時に学べる学習機会の提供を図る。	【日程】4月～3月の水曜日、公民館主催事業日 全26回 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため4月～7月中止 【場所】生涯学習センターアビスタ 託児室 【内容】子ども連れの公民館・図書館利用者の子どもの託児 【対象】子育て中の生涯学習施設利用者 <<託児対象児>>2歳から就学前までの幼児  ◇◆指標と実績◇◆ 【保育利用者】 18 人 【利用者内訳】 <<毎週水曜日>> 【利用回数】 44回 【利用者】 18人 <<公民館事業(家庭教育学級、単発講座及び図書館講座)>> 【利用回数】 0回 【利用者】 0人	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
131	(No.24再掲) 生涯学習ボランティア					生涯学習課
132	文化事業市民スタッフの活用  教育委員会が主催・共催する文化事業の実施にあたって市民スタッフを活用し、受付、設営、会場整理等の業務を行う。	市民の自主的な参加協力により、地域の文化活動を支援する事業を教育委員会の主催で実施する。 【委嘱期間】4月1日～3月31日 【委嘱人数】 22人 【派遣件数】 2件 【派遣人数】 2人(延べ) 【派遣件名】 郷土芸能祭、めるへん文庫表彰式 【業務内容】 司会  ◇◆指標と実績◇◆ 【登録人数】 22人	A. 成果・効果があった  市民スタッフを派遣することで、舞台運営を円滑に行うことができた。	A. 現状どおり推進	昨年度より新型コロナウイルス感染症の影響で稼働率は減少。 郷土芸能祭、市民参加型コンサート、めるへん文庫表彰式で派遣予定	文化・スポーツ課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充		②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充				
133	<b>防災士及び災害救援ボランティア育成事業</b>  防災士と災害救援ボランティアの認証資格の取得を支援し防災リーダーを育成することで、共助による「自分たちの地域は自分たちで守る」という地域の原点を自然発生的に芽生えさせ、自主防災組織の組織化と活性化により、我孫子市における防災力や減災力の質的向上に努める。	<b>●災害救援ボランティア補助金交付</b> 防災士及び災害救援ボランティア認証資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料の3分の2以内、一般：9,200円・学生：6,700円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民、市内の大学在学者 <b>●防災士補助金交付</b> 防災士の資格の取得を支援し、防災リーダーを育成することで、地域の防災力向上の推進と災害発生時の被害の軽減を目的とする。 <b>【日程】</b> 随時 <b>【補助額】</b> 受講料、試験料及び登録料の3分の2以内、4万円を上限とする。 <b>【対象者】</b> 市民(自治会、自主防災組織の推薦を受けた者)  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【災害救援ボランティア講座 受験者数】</b> 学生 1人 <b>【防災士 受験者数】</b> 4人	<b>A. 成果・効果があった</b>  コロナ禍で市内で講座を実施していないにもかかわらず、自主的に資格を取得しており、地域での防災への意識が高くなっていると感じた。	<b>A. 現状どおり推進</b>	前年度実施できなかった災害救援ボランティア講座を実施(H31年までも実施)	市民安全課
135	<b>介護予防サポーター養成講座</b>  高齢者が住み慣れた地域の通いの場において介護予防の取り組みが行えるよう、団体リーダー(シニアリーダー)向けに研修会(フォローアップ研修含む)を実施します。また、研修に参加したリーダーが、日頃の活動において介護予防の普及・啓発が行えるよう支援します。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 ◇◆指標と実績◆◇ <b>【平成31年度研修会参加者へのアンケート結果】</b> 研修会参加者のうち、「満足」と回答した方が約9割おり、研修会で実施した「筋トレや認知症予防運動等」のプログラムを日々の活動に取り入れてたいと回答があった。	<b>C. 未実施・わからない</b>  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	<b>A. 現状どおり推進</b>	定員の縮小・プログラム内容の変更	高齢者支援課
136	<b>子育てサポーター養成講座</b>  核家族化により子育てに不安を持つ世帯の増加や、地域・家庭における子育て力の低下が認められる中、地域における子育て力を強化するため、子育てを支援する人材を育成する。	<b>●子育てサポーター養成講座 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</b> <b>【日程】(案)</b> ≪基本研修≫ 2日間 ≪専門研修≫ 1日間 ≪保育園見学実習≫ 1日間 <b>【内容】</b> こどもの発達と遊び、乳幼児の健康と安全、食生活と栄養、子育て支援の現状など <b>【対象】</b> 市内在住の20歳以上の方、または市内小規模保育事業所に従事している方で、市内で子育てサポーターとして活動する意欲のある方や、子育て支援活動を行う予定のある方 <b>【定員】</b> 30人  ◇◆指標と実績◆◇ <b>【子育てサポーター人数】</b> 60人	<b>C. 未実施・わからない</b>  新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	<b>B. 改善・見直しを行う</b>  子育て支援員については、県の募集に申し込める状況になっているため、令和2年度以降は子育てサポーター養成講座のみの実施とし、子育てサポーターの育成を行っていく。	子育てサポーター養成講座のみの実施とし、子育てサポーターの育成を行っていく。	保育課

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点		
基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり	②地域で活動する人材の発掘・育成とスキルアップの拡充	137	<b>環境レンジャー活動への支援</b> 環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成し、市内の行事に参加してもらうことで市民の環境保全活動への関心を高める。 ●ネイチャー・イン企画の開催を行う。 4月18日(土) 春の谷津の自然散策 8月1日(土) ホタル観賞会 11月21日(土) 秋の谷津の自然散策 1月24日(日) 手賀沼船上冬鳥観察会 ●Enjoy手賀沼! 【日程】5月10日(日) ●市民のチカラまつり2020 【日程】9月26日(土)、27日(日) ●環境レンジャー通信「たまっけ」の発行をする。 【発行日】4/15(77号) 10/15(78号) 1/15(79号) ●エコ・こども教室を開催する。 新型コロナウイルス感染症の影響により中止 ●次世代の環境レンジャーを育成するため、環境レンジャーサポーターを募集し、環境レンジャーに必要なスキルを習得する。 ◇◆指標と実績◆◇ ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 12人(サポーター含まず)	A. 成果・効果があった ・環境ボランティアリーダーとして環境レンジャーを育成 【環境レンジャー人数】 15人(サポーター含まず) 環境レンジャー人数の減少	A. 現状どおり推進	なし	手賀沼課
		138	<b>緑のボランティアの森づくり</b> 森づくり作業を通じて、自然に対する理解と愛着を深めてもらうとともに、市内に残る貴重な緑地を保全する。 ●市民の森&古利根みどりのボランティア定例活動日 ≪古利根自然観察の森活動≫【日程】偶数月第2土第4水・奇数月第2日第4水 ≪古利根沼水辺の活動≫【日程】毎月第3水 ≪中里市民の森活動≫【日程】奇数月第4日 ≪岡発戸市民の森活動≫【日程】偶数月第4日 ◇◆指標と実績◆◇ 【参加延べ人数】182人	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス対策により活動回数を減らして実施したが、みどりのボランティアの協力により、古利根沼や斜面林の維持管理が適切に行われ、市民が自然を享受する場を提供することができた。	A. 現状どおり推進	古利根自然観察の森活動について、新型コロナ対策として、土日の活動日を増やして密にならないように実施している。	公園緑地課
		140	<b>生涯学習審議会委員の研修</b> 生涯学習や社会教育に関する知見を深めてもらうとともに、委員間の連携強化を図るため、研修会及び振興大会に参加する。 【実施回数】3回 生涯学習審議会の社会教育に関する知識を深めるため、東葛飾地区6市合同で研修会及び振興大会を行う。 ●東葛飾地区社会教育連絡協議会研修会 ※例年8月に行っているが、新型コロナ感染対策のため抱き合わせ会議が書面開催となったため中止 ●東葛飾地区社会教育振興大会 【日程】10月14日(水) 【場所】松戸市女性センターゆうまつど 【内容】「開かれ、つながる社会の実現をめざして」 ※新型コロナ感染対策のため中止 ●東葛飾地区社会教育委員・社会教育関係者合同研修会 【日程】1月19日(火) 【場所】流山市 ※新型コロナ感染対策のため中止 ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習審議会委員の研修参加者数(延べ)】 ※新型コロナ感染対策のため0	C. 未実施・わからない ※参加予定の県研修会が、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価	今後の進め方	前年度からの変更点	
			成果 課題	改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		
③学んだ成果を評価するしくみの構築		③学んだ成果を評価するしくみの構築				
143	市民参加型コンサート 市内音楽愛好家の交流の場と成果を発表する機会を提供するため、市内在住、在勤、在学の方が出演するコンサートを開催する。	●市民参加型コンサート 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【事業名】コンサート名未定 【日程】令和3年2月14日(日) 【内容】出演者を公募し、合唱またはパーカッション、金管楽器、木管楽器のアンサンブル演奏会 【開催場所】湖北地区公民館 ホール  ◇◆指標と実績◆◇ 【参加者】0人	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	出演者を公募し、合唱、吹奏楽、和太鼓等のコンサートを予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大により延期。延期の日程は、令和4年3月6日(日)	文化・スポーツ課
144	文化祭 多くの市民が参加し、文化芸術に触れ親しむ機会を提供するとともに、市民の文化芸術に関する関心を高める。	●市民文化祭 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。 【内容】市民の手で市民が作る文化の祭典。 【日程】10月3日(土)～12月13日(日) 【開催場所】アビスタ、湖北地区公民館、我孫子市民プラザ、我孫子南近隣センター、けやきプラザ、つくし野コミュニティホール、我孫子北近隣センターつくし野館 【開催部門】 <展示部門> 絵画、書道、手工芸、華道、盆栽山野草、東洋蘭、さつき、菊、北部地域展示 <音楽・芸能部門> 謡曲、民謡、舞踊、アルゼンチンタンゴ、日本舞踊、詩吟、三曲、洋舞、吹奏楽、合唱、軽音楽、フラダンス、歌謡曲、マジック、アンサンブル、北部地域芸能 <各種文化部門> 茶道、きもの着付け、短歌、俳句、囲碁  ◇◆指標と実績◆◇ 【出演者数】0人 【入場者数】0人	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	8月24日に文化祭実行委員会役員会を開催。音楽・芸能部門は全公演中止とし、展示、各種文化部門の一部の中止を決定。実施するものについては、新型コロナウイルスに感染症対策のガイドラインに沿って実施する。	文化・スポーツ課
146	めるへん文庫 子どもたちが創作活動に親しみ、また、豊かな感性を育むことができるよう、めるへん文庫の作品募集や入賞作品集の刊行、めるへん文庫の表紙絵・挿絵の原画展示を行う。	●めるへん文庫 【対象】全国の小・中・高校生 【内容】童話作品を募集し、優秀作品を表彰。教育委員会の主催で実施。 【募集期間】4月1日～9月30日 《表彰式》 【日程】令和3年2月20日(土) 【受賞】小学生の部 1席1名、2席1名、3席4名 中学生の部 1席1名、2席1名、3席5名 高校生の部 1席1名、2席1名、3席5名 古登正子賞 1名 ※例年、1席及び古登正子賞受賞作品の朗読を表彰式会場で実施していたが中止し、代替えとして朗読動画のYouTube配信を行った。 動画撮影・編集等は業者に委託し、朗読と朗読の挿入曲を白樺文学館の市民スタッフに依頼した。  ◇◆指標と実績◆◇ 【作品応募数】125編	A. 成果・効果があった 朗読動画のYouTube配信を行ったことで、より、子ども達の創作意欲の向上につながった。	A. 現状どおり推進	令和3年度は、前年度受賞した作品の作品集「めるへん文庫第18集」と現年度受賞作品の作品集「めるへん文庫第19集」を刊行する。継続して朗読動画のYouTube配信を実施する。	文化・スポーツ課
147	(No.50再掲) 郷土芸能への支援					ポ文化ツ・課ス
148	(No.125再掲) 手賀沼エコマラソン支援事業					ポ文化ツ・課ス

基本目標 4 学んだ成果を活かすことのできるまちづくり

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
基本目標 5 学びでつながるまちづくり		基本目標 5 学びでつながるまちづくり			基本目標 5 学びでつながるまちづくり	
①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実		①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実			①学びによる仲間づくりや交流等のコーディネート機能の充実	
149	市民のチカラまじりの実施 市民活動を活発にするため、市民と市民団体等とが交流できるマッチングイベントや講演会を実施する。	●市民のチカラまつり 【日程】9月14～27日 【場所】けやきプラザ(2階第1ギャラリー、我孫子南近隣センター、)、アビシルベ、アビスタ・ストリート 【内容】新型コロナウイルス感染予防の観点から、「市民活動団体のポスター展示」と「オンライン企画」(Zoom講座とYouTubeでの動画配信)を主に行った。参加型企画は、「我孫子を知るクイズ」、まち歩きなど三密を避けて行える催しにとどめた。「企画部門」では、市民活動団体が社会課題等の解決や啓蒙等の講演会・勉強会の企画を自ら提案・運営を行い、広く市民を対象に実施した。 【参加者】人数:第1ギャラリー62名、クイズ参加者305名、YouTube視聴回数2,146回(9/14～9/30)、Zoom講座参加者数102名 参加団体:42団体  ◇◆指標と実績◆◇ 【市民活動をはじめた人数】5人	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症の影響により、中止を検討したが、ZOOMやYoutubeを活用してオンラインで開催するという新しい形で実施することができた。  対面式でのイベントが行えなかったため、市民団体が市民の方と直接触れ合う機会が設けられなかった。	A. 現状どおり推進 実行委員会形式で実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら対面式のイベントとオンラインのイベントを組み合わせ実施する。	前年度はオンラインでの開催となったが、今年度は感染症予防対策をしっかりと行ったうえで対面式のイベントについても実施する。	市民活動支援課
150	(No.61再掲) あびこ子どもまつり	※担当課の進行管理による				子ども支援課
151	(No.62再掲) げんきフェスタ	※担当課の進行管理による				子ども支援課
152	学校支援事業の充実 学校教育の内容を充実させ、その教育力を向上させるため、市内全小中学校で立ち上げた学校支援地域本部において、地域住民・保護者・大学生などによる学校支援ボランティア活動を行う。	・学校支援地域本部が中心となり、各関係機関・団体、大学・高校と連携しボランティア人材を確保する。 ・学校の支援活動ニーズと支援活動年間計画を作成する。 ・学校支援地域本部事業について、もう一度趣旨・目的を説明し学校全体として取り組むようにする。 ・中学校区でのコーディネーター活動が充実するよう、コーディネーター会議を定例化していく。 ・高校・大学と連携して、学生によるボランティア活動を進められるようにする。 【場所】市内小中学校 19校 【実働人数】 《小学校》延べ 211,985人 《中学校》延べ 7,347人  ◇◆指標と実績◆◇ 【ボランティア活動実働人数】29,332人(小中学校延べ)	A. 成果・効果があった 各校ともコロナ禍で延べ人数は減少しているが、事業への実質的な満足度は継続されている。今後も学校のニーズとボランティアのコーディネートを推進したい。  学校支援地域本部活動から地域学校協働活動への広がりを緩やかに進めている。	A. 現状どおり推進	なし	指導課
153	(No.22再掲) 生涯学習学習相談体制の整備					生涯学習課
154	(No.66再掲) 長寿大学					生涯学習課
155	(No.69再掲) 家庭教育学級					生涯学習課
156	(No.70再掲) のびのび親子学級					生涯学習課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課		
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点	
②新たなつながりを生み出す団体等への支援・育成							
基本目標 5 学びつつながるまちづくり	158	<b>在住外国人支援事業</b> 在住外国人が安心して快適に日常生活を送れるよう、我孫子市国際交流協会(AIRA)に日本語教室や相談窓口等、外国人の支援に必要な業務を委託する。	<b>外国人のための日本語教室</b> 【日程】火曜日32回、土曜日35回 【開催方法】オンライン 【所要時間】1回あたり約1時間30分 【受講生】58人 【ボランティア講師】26人 <b>外国人相談窓口業務</b> ・我孫子市国際交流協会内で市内に在住・在勤、在学の外国人からの相談を受ける。 ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【相談件数】10件 【登録相談員】11人 <b>外国語通訳派遣業務</b> ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 ・JBF等のイベントや国際交流事業の開催方法の変更や中止が相次ぎ、通訳派遣の要請はなかった。 <b>簡易な文書の翻訳業務</b> ・英語、中国語、タイ語、スペイン語、韓国語、フランス語対応 【翻訳実績】「広報あびこ」主要記事の英訳(年12回、A4記事4ページ)、新型コロナウイルス対応特別定額給付金申請書、ゴミの出し方パンフレット、ガイドブックABIROAD英訳等。翻訳枚数26枚。  ◇◆指標と実績◆◇ 【外国人のための日本語教室開催数】67回	A. 成果・効果があった <b>外国人のための日本語教室</b> 前年度末からオンライン講座の環境を整備し、在住外国人の日本語学習の機会を確保するとともに、新型コロナの影響で不安を抱える外国人学習者の相談にも適宜応じた。 <b>外国人相談窓口事業</b> AIRA事務局が相談窓口となり、暮らしや子どもの養育に関する相談などに対応した。専門的な内容については関係部署へつなぐことで、相談者の抱える問題解決に努めた。 <b>外国人通訳派遣事業</b> 新型コロナの影響によりJBFや国際交流事業が例年どおり実施されず、通訳派遣の要請がなかった。 <b>簡易な文書の翻訳業務</b> 市やAIRAが発信する情報の英訳・中国語訳・スペイン語訳等により、幅広い層へ情報発信することができた。	A. 現状どおり推進 引き続き、在住外国人の生活支援に必要な業務をAIRAに委託する。	なし	企画課
	159	<b>公募補助金制度の運用</b> 市民生活向上など、市民の利益につながる公益的で営利を目的としない活動を行う団体へ、補助金の交付による活動支援を行う。	<b>公募補助金の運用</b> 公募補助金は、地域のまちづくりを推進し、市民が行う自由な市民公益活動や生涯学習活動を支援するための補助金。交付期間は最長3年間。補助金の範囲は、補助対象経費の100分の10から100分の50まで。 【応募資格】 営利を目的とせず、公益の増進に寄与する任意団体または特定非営利活動法人で、次の要件のいずれにも該当するものが対象。 ①5人以上で構成されていること。 ②活動拠点が市内にあり、かつ、市内で活動していること。 ③政治や宗教を主たる目的としないこと。 ④同一の事業・目的で市からほかの補助金を受けていないこと。また、市や市教育委員会と共催する事業・活動でないこと。 ⑤特定非営利活動法人は税金を滞納していないこと。 ⑥前年度(令和元年度)に活動実績があり、収支決算を提出できること。  ◇◆指標と実績◆◇ 【公募補助金交付件数】9件	A. 成果・効果があった 市民が行う公益活動や生涯学習活動への活動支援を行った。  【次年度申請分審査状況】 審査申請:6件 審査結果:採択 6件、不採択 0件  制度の趣旨としては、交付団体に最終的に自立した運営をすることを目的としているが、自立した団体は少ない。既得権益的な制度となっていることは今後の課題と考える。	A. 現状どおり推進 現在の既存団体を支援するためには、現状のとおり推進をしていく方向ではあるが、制度開始後15年以上が経過していることもあり、制度内容の再検討は必要と考える。	なし	市民活動支援課
	160	<b>市民公益活動補償制度の運用</b> 市民活動に参加した者が活動中に傷害等を負った場合の補償を行い市民の活動支援を行った。 【対象者】 主たる活動拠点が市内にあり、かつ、構成員が5名以上の団体(構成員の70%以上が市内に居住していることが必要)による「公益的な活動」が対象。ただし、日本国外の活動、営利・政治・宗教に係る活動を除く。 【補償の種類】 傷害、損害賠償 【支払】 ≪傷害≫ ・支払件数:11件 ・支払金額:1721千円  ◇◆指標と実績◆◇ 市民公益活動中の補償すべき傷害、賠償責任について補償する。 指標:補償率 実績:100%	A. 成果・効果があった 市民活動を支援していく側面として、活動中における補償も必要であるため支援を継続する。	A. 現状どおり推進	なし	市民活動支援課	

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	161	資源循環型社会に関する市民講座への派遣  資源循環型社会の構築に向けて、ごみ資源排出抑制等の情報提供や、環境教育を行う。	<p>《長寿大学》 【日程】令和2年11月17日(火)9:30~11:30 【場所】湖北地区公民館 【内容】「ごみと資源」その他事前質問に回答 【参加者】長寿大学 2学年(46期生) 45名</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【最終処分量】3,377t 94.76% (目標値3,200t)</p>	<p>A. 成果・効果があった 廃棄物施策に対する市民の理解が深まった。</p> <p>職員減による講師不足、解体工事等に伴う施設見学の一時中止</p>	A. 現状どおり推進	なし	クリーンセンター
	162	我孫子市創業支援等事業  市内の起業・創業件数の増加を図るため、平成26年6月に国から認定を受けた「我孫子市創業支援等事業計画」に基づき、市内関連機関と連携しながら、起業・創業に関する相談業務や、ビジネス交流会、創業塾の開催等により、起業・創業者を総合的に支援する。	<p>●『実践創業塾』 本格的な創業を目指す、実践的な起業コース。このコースは我孫子市の特定創業支援等事業で、受講後、市の終了証明書を受領すると下記のメリットが受けられる。 ※証明書は受講終了を証明するものでメリットを保証するものではない。 ・会社設立時の登録免許税軽減 ・無担保・第三者保証人なしの創業関連保証(金融機関の審査有り) ・日本政策金融公庫の新創業融資制度の要件緩和(金融機関の審査有り) ・我孫子市創業支援補助金の対象 【日時】令和2年11月22日(日)・11月29日(日)・12月6日(日)・12月13日(日) 9:15~17:00 【場所】我孫子北近隣センター・ホール 【対象者・定員・参加者】起業を目指す方ならどなたでも。定員20人 参加者19名 【費用】8,000円 ●『我孫子市ビジネス交流会』 ビジネスには交流の場が不可欠。これから起業を目指す方、既に起業し事業を行っている方を対象に開催。ビジネスパートナーとの出会いや、ビジネスのヒントを得る機会として開催。 【新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止】 ●『起業個別相談会』 実践創業塾やビジネス交流会などの支援を受けた後、実際にスタートするまでの間に一人で苦勞してなかなか起業出来ない方が多いことから、起業前の準備段階の時期に専門的な支援を実施することで、今後の起業件数の増加に繋げる機会として開催。 【日時】令和3年3月20日(土) 9:00~15:00 【場所】我孫子市商工会 【対象者・定員・参加者】市内これから起業する方、起業して5年以内の市内事業者 定員15名 参加者9名 【費用】無料 ●『女性起業支援フォーラム』 先輩女性起業家の講演や参加者同士の交流会等の女性に特化した創業支援を実施することにより、女性の起業率を高めることを目的として開催。令和元年度は、地元女性起業家による展示会も同時開催。 【日時】令和3年2月13日(土) 14:00~16:30 【場所】オンライン開催 【対象者・参加者】起業に関心のある女性、市内在勤の女性、市内の女性事業者 参加者27名 【費用】無料 ●『創業スクール』 創業に必要な知識を講義と実践で学び、創業計画書を作成する4日間のカリキュラム。年2回開催。(市共催事業) &lt;上期&gt;【新型コロナウイルス感染症の影響により中止】 &lt;下期&gt;【日時】令和3年1月16日(土)、1月23日(土)、1月30日(土)、2月6日(土) 14:00~16:30 【場所】オンライン開催 【対象者・定員・参加者】県内で創業を予定している方、創業して間もない方。定員30名 参加者34名(我孫子市民0名) 【費用】無料</p> <p>◇◆指標と実績◆◇ 【起業者数】 令和2年度の起業者数は6名(法人2名・個人4名) ※このうち、実践創業塾からの起業者は5名(法人2名・個人3名)</p>	<p>A. 成果・効果があった 国の認定を受けた我孫子市創業支援等事業計画に定めた創業者目標数(令和2年度目標値:累計57名、実績値:累計53名)を概ね達成していることから、各施策共に効果があったと考える。 なお、事業の開催に当たっては新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンライン開催等の対策を講じて実施した。</p> <p>一つの支援事業を受けただけで起業できる方は少ないので、複合的な支援が必要と考える。今後も起業者数を継続的に増やしていくため、これまでも実施してきたアンケート調査等を継続し、より起業予定者のニーズに合った支援を行っていく必要がある。 また、次年度においても新型コロナウイルス感染症の影響等を注視し、各事業の開催の可否や対策を講じたうえでの開催など十分に検討する必要がある。</p>	A. 現状どおり推進	なし	企業立地推進課

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容 前年度からの変更点	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題			今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	163	<b>市民の学習活動への支援</b>  広報あびこ、ホームページ、生涯学習情報紙を通して、各課が実施している生涯学習関連事業や生涯学習に携わる人材や団体の情報、生涯学習イベント等の情報提供するとともに、市民からの学習に関する問い合わせに対応する。また、市民の技術・経験・知識が活用できるよう生涯学習団体グループの団体の活動内容等の情報を市のホームページ登録・提供し活用を図る。	生涯学習情報の発行とホームページを主とした情報の発信を行った。生涯学習団体グループについては、随時ホームページの掲載内容の更新を行った。  ◇◆指標と実績◆◇ 【生涯学習トップページのアクセス数】7,859件 【生涯学習情報発行部数】3,000部 【学習相談件数】209件 【新規登録数】人材情報：1人 団体情報：2団体	A. 成果・効果があった	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	164	(No.25再掲) 視聴覚教材・機材の管理及び貸出					生涯学習課
	165	<b>社会教育団体活動支援</b>  市民と協働でまちづくりを進める中で、市民団体が行っている事業の共催及び後援等を行い、社会教育活動の活性化を図る。	●後援 市民団体の後援申請に基づき、18団体、18事業の後援を行った。コロナウイルス感染症蔓延のため、中止や延期の事業があった。  ◇◆指標と実績◆◇ 【後援事業数】18事業	A. 成果・効果があった 後援18事業を行い、市民の社会教育活動の一助となった。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	166	<b>文化芸術団体活動支援</b>  文化芸術団体の活動を支援し、我孫子市の文化芸術活動の活性化を図る。	文化団体が主催する活動について、後援、協力等の支援を行う。  ◇◆指標と実績◆◇ 【共催事業数】6件 【後援事業数】22件	A. 成果・効果があった 文化芸術団体等が実施している事業の支援を行うことにより、活動の活性化が図れた。	B. 改善・見直しを行う 受益者負担の観点からも、共催扱いとしている事業の精査を行う。	共催扱いとしていた事業について、「協力」また「後援」による支援に切り替えを行う。	文化・スポーツ課
	167	(No.95再掲) スポーツフェスタ～スポーツを楽しもう～					文化・スポーツ課

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容		担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無	前年度からの変更点	
168	施設・団体への図書等の貸出サービス 市内団体の自主活動や学級文庫活動を支援して、子どもたちの読書活動と市全体の読書環境の向上を図る。	学級文庫への貸出…市内小中学校(特別支援学級含む)1クラスにつき40冊まで、貸出依頼のあった学級に対して、学期ごとに貸出をした。主に図書館で選定したものを提供した。 ※新型コロナウイルス感染拡大の影響により、1学期分の貸出を中止し、2学期から行った。 各種団体への貸出…家庭文庫・読書会をはじめ、保育園、幼稚園、学童保育室、ボランティア団体、福祉施設などの各種団体に対し、200冊まで2か月の期間で、依頼のあった場合に随時貸出をした。 読書会への十冊文庫の貸出…読書会に県立図書館の十冊文庫を提供した。10冊、約4週間。 庁内支援サービス…市役所各課の政策立案・企画等に必要図書資料の貸出や情報提供を行った。(図書・雑誌40冊まで、期間1ヵ月。CD・カセットテープは10点まで、期間2週間) 【年間団体貸出冊数】 15,800冊 【団体の年間利用数】 822回  ◇◆指標と実績◆◇ 【年間団体貸出冊数】 15,800冊 (前年度比 50.3%)	A. 成果・効果があった 団体貸出サービスは、団体数・団体貸出冊数ともに一定のレベルを維持している。市内団体の自主活動や子どもの読書環境を支援するためにも必要な事業であった。  新型コロナウイルス感染拡大の影響により、団体貸出冊数が例年より減ってしまったが、市民の学習機会を充実させるために、重要な事業であるため、今後も引き続き推進していく。学校への支援については、近年、各学校図書館が充実しつつあることから、学級文庫の貸出サービスの見直しを図っていく。	A. 現状どおり推進 近年、各学校図書館が充実しつつあることから、令和3年3月末をもって普通学級への学級文庫貸出サービスは終了することとする。特別支援学級については、学級それぞれの学習段階や児童の趣向にあった本を提供していく必要があると考え、団体貸出サービスを継続していく。家庭文庫・読書会などの市内の各種団体については、今後も引き続き、団体貸出サービスの利用の促進を図っていく。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自主活動を自粛している団体がある。また、近年、各学校図書館が充実しつつあることから、令和3年3月末をもって普通学級への学級文庫貸出サービスは終了した。特別支援学級については、学級それぞれの学習段階や児童の趣向にあった本を提供していく必要があると考え、団体貸出サービスを継続していく。	図書館
169	鳥に関する学習への支援 鳥に関する正しい情報を提供するため、常設展示室、企画展示室にて鳥に関する解説を学芸員や市民スタッフ展示交流員が行う。多目的ホールのボードボックスの使い方などもレクチャーするとともに、鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付け、博物館資料を使った大学院生などの研究への協力も行う。	夏休みの自由研究に関して、昨年度の鳥に関する研究の優秀作品の展示に加え、今年度も学芸員による相談受け付けを行った。また、博物館資料の活用では、他施設(博物館)への貸出、および調査研究への協力も行った。 ●市民スタッフによる展示交流 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症拡大防止の為活動を中止した。 ●鳥に関する質問対応 鳥に関する質問を電話、手紙、館内などで随時受け付けた(通年)。 【問合せ件数】 年間236件(夏休みの自由研究に関する質問対応も含む) ●調査研究への協力 博物館資料(剥製)の貸出・閲覧を行った(通年)。 【館内】 15件(82点) 【館外】 2件(2点)  ◇◆指標と実績◆◇ 【団体来館者の解説件数(ガイドツアー含む)】 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症対策のため、展示解説を中止した。	C. 未実施・わからない 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症対策のため展示解説を中止した。しかし、鳥に関する質問については電話・手紙・館内で随時受付を行った。	A. 現状どおり推進	展示解説、ガイドツアー、展示交流を行っていくが、新型コロナウイルス感染症の影響により活動が自粛されている。	鳥の博物館
170	鳥の博物館市民スタッフの充実・友の会への支援 市民スタッフが、環境学習リーダーや来館者へのガイド役として活躍するように支援する。また、友の会の行う友の会展や鳥類に関するあらゆる生涯学習の活動について支援を行う。	●市民スタッフ(24名) 環境学習リーダーや来館者へのガイド役として必要な体験や学習を習得するための支援を行う。 令和2年度においては新型コロナウイルス感染症対策の為、活動を自粛した。 【活動内容】夏の遊びと研究大集合(8月1日、2日、8日、9日) ●友の会(265名) サークル活動への場の提供や情報提供による支援を行う。 新型コロナウイルス感染症対策の為、参加人数を減らして活動を行った。 【活動内容】鳥風教室、和紙を使った工作イベント等  ◇◆指標と実績◆◇ 【友の会・市民スタッフ登録者数】 指標: 350人 実績: 289人	A. 成果・効果があった 新型コロナウイルス感染症対策の為、市民スタッフの館内の展示交流事業および自然観察会の運営事業を行うことが出来なかった。 友の会の活動も制限されたが、状況に応じて各同好会の活動は行われたが、2月13日～3月14日「友の会展」を開催した。	A. 現状どおり推進	新型コロナウイルス感染症対策の為、参加人数を減らして活動を行う	鳥の博物館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築		③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築				
171	我孫子市国際交流協会(AIRA)との連携 国際交流の場を提供し地域の国際化を推進するため、我孫子市国際交流協会(AIRA)と共催であびこ国際交流まつりと国際交流スピーチ大会を開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第21回国際交流スピーチ大会 【日程】9月29日(日) 【場所】市民プラザ多目的ホール 【内容】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。</li> <li>●第28回あびこ国際交流まつり 【日程】11月24日(日) 【場所】市民プラザ(多目的ホール・ギャラリー・サロン) 【内容】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止。</li> </ul> ◇◆指標と実績◆◇ 【国際交流イベントの共催】 0件	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止とした。	A. 現状どおり推進 引き続き、AIRAと連携しながら事業を実施していく。	新型コロナウイルス感染拡大の状況を注視し、オンラインおよび会場の同時開催で実施する。	企画課
172	消費生活展の実施 消費者自らがトラブルを未然に防ぐ知識を身につけられるよう、関係する団体や機関と連携して消費生活展を開催し、消費者への啓発を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●第45回消費生活展 【日程】令和3年2月2日から2月15日 【場所】アビスタストリート 【テーマ】消費生活パネル展「このままでは危ない！私たちの暮らし」 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会、環境レンジャー 【来場者数】1040名 【対象者】市内外の消費者</li> </ul> ◇◆指標と実績◆◇ 【参加団体】我孫子市消費者の会、NPO法人手賀沼トラスト、あびこ型「地産地消」推進協議会、生活協同組合我孫子生活センター、NPOせっけんの街、エコライフあびこ、我孫子市石けん利用推進協議会、環境レンジャー 【来場者数】1,040名	A. 成果・効果があった 令和2年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、対面で説明する方式ではなく、アビスタストリートにて、パネル展示のみを行った。新規の場所で、生活展のことを知らなかった方や熱心にパネルを見ている姿などあり、好評であった。	A. 現状どおり推進 事業としては、現状どおり推進すべきと考えているが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、感染対策を講じて行う必要がある。	なし	商業観光課
173	エンジョイ手賀沼 市民団体・事業者・行政で実行委員会を組織し、手賀沼の浄化・再生を広く市民に呼びかけるイベントを開催する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●Enjoy 手賀沼！2020 ～One for T, T for One～ 【日 時】5月10日(日)</li> </ul> ◇◆指標と実績◆◇ 【来場者】 新型コロナウイルス感染症の影響により中止	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	A. 現状どおり推進	・新型コロナウイルス感染症の状況を鑑み、会場開催を中止とし、オンライン及び水の館での展示開催とした。	手賀沼課
174	(No.30再掲) 健康フェア					健康支援づくり
175	(No.45再掲) ジャパンボードフェスティバルの開催					光手課 沼鳥課 の・博 物業 館観

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容			令和3年度実施内容	担当課
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方	前年度からの変更点	
176	青少年相談員連絡協議会への支援 青少年相談員連絡協議会が実施する子どもの自主性、協調性を育む事業や会議運営について支援していく。	●青少年ポッチャ大会 オリンピック・パラリンピックの開催を見据えて、ポッチャの楽しみ方を普及させるための大会開催を予定していたが、新型コロナウイルスの影響によりその他中止となった。 ◇◆指標と実績◆◇ 指標: 楽しく有意義な体験ができた子どもの割合 実績: 0% ※コロナ禍の影響を受け、事業を実施していない。	C. 未実施・わからない 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントを中止とした。	A. 現状どおり推進 新型コロナウイルスの影響を考慮しながら、ポッチャ大会等の青少年相談員事業が実施できる状況となった場合には積極的に支援していく。	なし	子ども支援課
177	(No.41再掲) 子どもの居場所づくり事業 (あびっ子クラブ)	※担当課の進行管理による				子ども支援課
178	子育てフェスタ 我孫子で子育てを楽しめる場所や子育て支援活動を紹介するなど、「子育て」をキーワードに家族で子どもの成長を感じられるとともに、多世代をつなげるイベントを開催する。	●ママへのごほうびフェスタ 【場所】アビイクオーレ全館(イトーヨーカドー我孫子南口店) 【日程】9月26日(土) 【内容】我孫子市内の子育てに関する施設やサークル・団体の紹介展示 ◇◆指標と実績◆◇ 【イベントの参加者】 ●ママへのごほうびフェスタ: 364人	A. 成果・効果があった 子育て支援活動の紹介や市内の子育て関連施設を紹介することで、子育てに関する情報提供の場となった。 毎年、企業による体験コーナーやステージイベント・にこにこ広場での製作や身体測定・講座を開催していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、展示のみの開催となった。そのため、本来の開催目的である、保護者のリフレッシュの場の提供や講座は実施できなかった。	A. 現状どおり推進 子育てを楽しめる場や、子育て支援活動等についての情報提供を行っていく。	新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度は、子育て関連の展示のみとして、9月25日に実施予定。	保育課
179	学校評議員設置事業 小中学校に学校評議員を置き、保護者や地域住民等と連携しながら、地域に開かれた学校づくりを推進する。	学校が、保護者や地域住民等の信頼に答え、家庭や地域と連携して一体となって子供たちの健やかな成長を図っていく観点から、より一層地域に開かれた学校づくりを推進していくため会議を開催した。 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に1回、第2学期(9~12月)に2回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加 ◇◆指標と実績◆◇ 市内各小中学校19校で、年4回実施。 評議員数 小学校 71人 中学校 35人	A. 成果・効果があった 各学校において、保護者や地域住民、有識者、公募の市民等それぞれの立場から、社会情勢と学校教育を結び付け考えた意見を出してもらい、学校経営に生かすことができた。	A. 現状どおり推進 【開催場所】 市内全小中学校 19校 【日程】 第1学期(4~7月)に2回、第2学期(9~12月)に1回、第3学期(1~3月)に1回、年間4回実施 【対象】 評議員は、保護者、地域住民、有識者、公募の市民、校長が必要と認める者 市教育委員会委嘱の各小中学校評議員数による(5~8人) 他に校長・教頭・教務主任等が参加予定	なし	学校教育課
180	大学との協定による学校支援学生ボランティア事業 大学と協定を締結することで、小中学校における学習補助として、教員等を目指す学生ボランティアを活用するとともに、人材の育成を図る。	【日程】通年 【場所】市内各小中学校 【内容】学習支援、部活動指導補助 【対象】小中学校の児童生徒 【派遣状況】 【大学別実働人数】 《川村学園女子大学》 191人 《中央学院大学》 13人 《その他の大学》 40人 ◇◆指標と実績◆◇ 【実働人数】 244人	A. 成果・効果があった 市内の2大学では、ボランティアに関する単元や担当者を設定し、取り組んでくれている。しかし、今年度コロナ対応のため、縮小及び中止の単元もあるが、今後につなげていきたい。 コロナ禍のボランティアの実施方法の工夫	A. 現状どおり推進	なし	指導課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり  
③多様な学びの活動をつなぐネットワークの構築

	NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
			具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
基本目標 5 学びでつながるまちづくり	181	<b>キャリア教育の推進（小中学生の職場体験学習事業）</b>  子ども達が地元の協力事業所において、大人達と共に働く経験をする事によって、働くことの大切さや意義を感じとり、希望を持って将来を考えたり、我孫子の良さを感じたりできるよう、地域社会・家庭・学校が連携し合っ て職場体験学習を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●職場体験学習 新型コロナウイルス感染症の影響により、実施を中止。例年は、全ての中学校で職場体験学習を実施している。</li> <li>●特別活動を要としたキャリア教育 「我孫子市キャリア・パスポート」を全小中学校にて完全実施し、教育活動の全てをと おしてキャリア教育を実施。</li> <li>●キャリア教育担当者会議 各小中学校のキャリア教育担当教諭と指導課担当による担当者会議を年1回5月に 実施する。</li> </ul> ◇◆指標と実績◆◇ 【小中一貫教育におけるキャリア教育のカリキュラムに即して、自校のキャリア教育全 体計画の中に職場体験学習等の体験学習を位置づけた学校数】 19校 【協力職場数】 0箇所(令和2年) 480箇所(令和元年)	A. 成果・効果があった  小中一貫教育及び新たに作成した「我孫子市キャリア・パスポート」の完全実施により、教育活動の全てを通してキャリア教育を推進しており、発達段階に応じたキャリア教育が展開されつつある。  感染症の流行や災害による影響を乗り越えて、キャリア教育を行うためにはどのような方法があるかを見出し、検討していく必要がある。	A. 現状どおり推進  小中一貫教育と合わせて「我孫子市キャリア・パスポート」を活用し、小学校から高等学校までの期間を通してキャリア教育を推進する。	なし	指導課
	182	<b>生涯学習審議会の運営</b>  生涯学習を総合的に推進するための組織として審議会を運営し、生涯学習に関する計画や施策、事業などについて意見を聴いていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生涯学習審議会会議                &lt;&lt;第1回&gt;&gt;【日程】11月10日(火)                【議事】                1 我孫子市第三次生涯学習推進計画 後期実施計画の策定について                2 新たな生活様式における生涯学習とは                &lt;&lt;第2回&gt;&gt;【日程】2月19日(金)                【議事】                1 後期実施計画(案)について                ※書面開催                 ◇◆指標と実績◆◇                【審議会開催数】 2回             </li> </ul>	A. 成果・効果があった  後期実施計画を策定した。  コロナ禍の中で後期実施計画を策定するにあたり、事前に協議のポイントをメールして質問や意見を聴取していたことから、会議当日は有意義な意見をいただきながら短時間で進行することができた。	A. 現状どおり推進	なし	生涯学習課
	183	(No.126再掲) 市外図書館・大学・関係機関との連携協力					図書館

NO	事業名 趣旨・目的	令和2年度実施内容		令和3年度実施内容	担当課	
		具体的実施内容 / 指標と実績	評価 成果 課題	今後の進め方 改善・見直し内容および 廃止理由、代替事業の有無		前年度からの変更点
184	図書館実習生受入・施設見学  中学生のキャリア教育を受け入れることにより、今後の進路や職業選択の際の目安や目標になるように支援する。図書館現場で実務の研修を行うことにより、司書課程受講者を支援する。施設見学を受け入れ、生涯学習施設である図書館をPRする。	<p>《職場体験学習》《中堅教諭等資質向上研修》《インターンシップ》《施設見学・町探検》等を受け入れた。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【アビスタ探検隊参加者・図書館見学参加者・実習生受入人数の合計】 253人（前年度 987人）</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>将来の進路や社会活動の参考となるように、小中学生のキャリア教育、高校生や大学生のインターンシップ、施設見学等を受け入れ、若い市民が貴重な経験を得られる機会を創出できた。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの学校が見学やボランティア、職業体験を中止したことで受入れ人数が大幅に減少した。</p> <p>図書館業務には専門的なものもあり、年齢等に応じてより興味がわくように、実務的な体験プログラムを組む必要がある。</p>	<p>A. 現状どおり推進</p> <p>キャリア教育の一環として実施されている体験学習の重要性はますます高まっている。将来の進路や職業選択の参考となるよう、これからも市民を支援していくことは必要不可欠であり、今後も現状どおり推進していく。</p>	なし	図書館
185	山階鳥類研究所との連携・交流  テーマトークという形式で、山階鳥類研究所研究員による最新の研究成果や知られざる鳥の生態などについて、研究者の視点でやさしく紹介する。また、ジャパンバードフェスティバル期間中に「鳥学講座」を山階鳥類研究所と共同で開催し、最前線で活動する研究者に研究内容を一般向けにわかりやすく紹介してもらう。	<p>●テーマトーク(9月と11月を除いた毎月第2土曜日の13:30~14:15) 【日程・内容】 毎月第2土曜午後13時30分から14時15分まで 新型コロナウイルス感染症拡大により7月からオンラインセミナー形式で実施 《第1回》中止 《第2回》中止 《第3回》中止 《第4回》7月17日「鳥の換羽とその野外観察の面白さ」【参加者】177人 《第5回》8月15日「都市における電柱と野鳥～おもにスズメの話題から～」【参加者】158人 《第6回》10月17日「ムクドリの子育て事情」【参加者】92人 《第7回》12月19日「月夜のドライブは要注意～アマミヤシギの交通事故について～」【参加者】54人 《第8回》1月16日「沖縄のアジサシ類の渡りの謎」【参加者】100人 《第9回》2月20日「性別が4つある?!～ノジロシトドの繁殖生態～」【参加者】82人 《第10回》3月20日「古い標本が語るもの～明治に米国スミソニアン博物館から送られた鳥類標本から」【参加者】42人 ●鳥学講座inJBF 新型コロナウイルス感染症拡大によりオンラインセミナー形式で実施 【日程】11月7日(土) 【内容】洋上風力発電と野鳥～あまり知られていない影響とその対策～ 【講師】風間健太郎さん(早稲田大学人間科学部准教授) 【参加者】257人</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【共催した講座等の数】 指標：11回 実績：8回</p>	<p>A. 成果・効果があった</p> <p>協力関係にある山階鳥類研究所の研究成果と研究の面白さを、分かりやすく市民に紹介することができた</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	令和3年3月23日付「我孫子市教育委員会と公益財団法人山階鳥類研究所との連携に関する協定書」を締結したことにより、3Dプリンターを利用した標本作製するため、CTスキャン撮影に協力あり。	鳥の博物館
187	学校運営協議会制度の活用  学校経営方針や小中一貫教育の目標やビジョンを地域住民等と共有し、学校の応援団を増やし、地域と一体となって子供たちを育み、地域と共に歩む学校を推進する。	<p>実施せず。 ※令和4年度から【日程】年4回の定例会を基本 【場所】市内各小中学校《小学校》13校《中学校》6校 【内容】各校の学校経営の基本方針や我孫子市の小中一貫教育基本方針等の承認及び共有をし、協働活動を通して、子ども達の学びの支援を中心に行う。</p> <p>◇◆指標と実績◇◆ 【学校運営協議会開催数】</p>	<p>C. 未実施・わからない</p>	<p>A. 現状どおり推進</p>	布佐中学校区(布佐中、布佐小、南小)で試行実施	指導課

基本目標 5 学びでつながるまちづくり